

資料

辻邦生著作文献目録 (1)

Le répertoire des oeuvres de Kunio Tsuji

佐々木 涇*

SASAKI Thoru

この文献目録は、辻邦生の著作物を発表順に番号をつけて整理したものである。年月日の同じものは、著作物の表題が五十音順となっている。表題には『 』をつけてゴシック体にし、初出誌とその著者、編者あるいは初出雑誌と出版社はアンダーラインを入れた。その作品が新たに収録されている場合には【収録誌】以降に記し、複数の書物に収録されている場合には、発行日順に列記した。単行本として刊行された作品は初出時の番号がつけてあり、「刊行：」の次にゴシック体にしてある。1988年12月までに発表された著作物は、そのすべてを木村潔氏の編纂による『辻邦生書誌年譜1925～1988』（湯川書房、1991年1月30日）に負っている。1989年以降は、木村潔氏と学習院大学資料室の協力、及び佐々木による調査の範囲内であり、この他に多くの調査洩れがあると思われる。それらの洩れは判明次第、随時本誌に掲載する予定である。

(1996年9月)

1935年（昭和10）

1. 『春の景色』赤坂小学校「文集」創刊號【収録誌】木村潔編『辻邦生書誌年譜1925～1988』湯川書房、1991年1月30日（平成3）

1936年（昭和11）

2. 『年始廻り』赤坂小学校「文集」第4號【収録誌】木村潔編『辻邦生書誌年譜1925～1988』湯川書房、1991年1月30日（平成3）

1937年（昭和12）

3. 『綴方の時間』赤坂小学校「文集」第6號【収録誌】木村潔編『辻邦生書誌年譜1925～1988』湯川書房、1991年1月30日（平成3）

1941年1月20日（昭和16）

4. 『窓より』日大第三中学校機関誌「ますらを」第13号【収録誌】木村潔編『辻邦生書誌年譜1925～1988』湯川書房、1991年1月30日（平成3）

1944年10月（昭和19）

5. 『月光と幻想』寮劇台本

1945年8月10日（昭和20）

6. 『遠い園生』松本高校思誠寮雑誌「思誠」23号【収録誌1】『辻邦生作品全六巻1』河出書房新社、1972年11月30日（昭和47）【収録誌2】『秋の朝 光のなかで』筑摩書房、1976年8月20日（昭和51）【収録誌3】『見知らぬ町にて』新潮文庫、1977年7月30日（昭和52）【収録誌4】『辻邦生全短篇』中央公論社、1978年10月5日（昭和53）【収録誌5】『辻邦生全短篇2』中公文庫、1986年6月10日（昭和61）【収録誌6】陶振孝翻訳『昔日の心炙世界』日本語学習と研究、北京・对外経済貿易大学、1987年11月（昭和62）【収録誌7】『遠い園生』阿部出版、1990年11月30日（平成2）【収録誌8】

* 教授

- “The Distant Garden” (リース・モートン訳), リース・モートン編 “Seven Stories of Modern Japan”, ハワイ大学出版局, 1991年3月(平成3)
- 1946年11月(昭和21)
7. 『演技者として』松本高校演劇部第一回公演プログラム【収録誌】木村潔編『辻邦生書誌年譜1925～1988』湯川書房, 1991年1月30日(平成3)
- 1947年5月(昭和22)
8. 『聡明さについて』松本高校創立記念日芸能祭演劇部第二回公演イブセン「幽霊」上演プログラム【収録誌】木村潔編『辻邦生書誌年譜1925～1988』湯川書房, 1991年1月30日(平成3)
- 1952年3月(昭和27)
9. 『スタンダード論—ヴィクトリーヌからメラニーへ』東大仏文科卒業論文
- 1954年10月(昭和29)
10. 『「幽霊」のひとつの側面』文芸首都
- 1955年3月(昭和30)
11. 『崩壊する市民の文学(I)—G・ルカーチ〈市民を求めて〉(トーマス・マン論)』文芸首都
4月
12. 『崩壊する市民の文学(II)—G・ルカーチ〈市民を求めて〉(トーマス・マン論)』文芸首都
10月
13. 『トーマス・マンに就いての対話』対談(北杜夫) 文芸首都【収録誌1】『灰色の石に坐りて』中央公論社, 1974年7月10日(昭和49)【収録誌2】『灰色の石に坐りて』中公文庫, 1978年1月10日(昭和53) 1956年1月(昭和31)
14. 『物語形式と物語性』—近代小説の性格をめぐって(1)— 文芸首都
1961年2月(昭和36)
15. 『西欧の光の下』新潮【収録誌1】『異国から』晶文社, 1968年8月30日(昭和43)【収録誌2】『辻邦生作品全六巻1』河出書房新社, 1972年11月30日(昭和47)【収録誌3】『辻邦生全短篇』中央公論社, 1978年10月5日(昭和53)【収録誌4】『時の果实』朝日新聞社, 1984年6月25日(昭和59)【収録誌5】『辻邦生全短篇1』中公文庫, 1986年4月10日(昭和61)【収録誌6】『シャルトル幻想』阿部出版, 1990年9月10日(平成2)
- 6月
16. 『物語と小説のあいだ』近代文学【収録誌1】『小説への序章』—第1章—, 河出書房新社, 1968年2月1日(昭和43)【収録誌2】『辻邦生作品全六巻6』河出書房新社, 1973年1月30日(昭和48)【収録誌3】『小説への序章』河出文藝選書, 1976年3月25日(昭和51)【収録誌4】『小説への序章』中公文庫, 1979年3月10日(昭和54)
- 9月
17. 『城』近代文学【収録誌1】『城・夜』河出書房新社, 1969年2月28日(昭和44)【収録誌2】『辻邦生集』〈新鋭作家叢書〉河出書房新社, 1971年11月30日(昭和46)【収録誌3】『異邦にて』角川文庫, 1972年8月30日(昭和47)【収録誌4】『辻邦生作品全六巻1』河出書房新社, 1972年11月30日(昭和47)【収録誌5】『サラマンカの手帖から』新潮文庫, 1975年10月30日(昭和50)【収録誌6】『城・夜』河出文芸選書, 1977年8月15日(昭和52)【収録誌7】『辻邦生全短篇』中央公論社, 1978年10月5日(昭和53)【収録誌8】『辻邦生全短篇1』中公文庫, 1986年4月10日(昭和61)【収録誌9】『遠い園生』阿部出版, 1990年11月30日(平成2)
- 9月15日
18. 『フランス文学のなかのロシアの顔』サマーセット・モーム編『世界文学100選第5巻』河出書房新社 月報【収録誌】『海辺の墓地から』辻邦生 第一エッセー集 1961～1970, 新潮社, 1974年1月10日

(昭和49)

19. 刊行：『ネミロフスキー〈舞踏会〉』翻訳，サマーセット・モーム編『世界文学100選第5巻』河出書房新社

10月

20. 『神々の死の後に』近代文学【収録誌1】『小説への序章』一第2章一，河出書房，1968年2月1日（昭和43）【収録誌2】『辻邦生作品全六巻6』河出書房新社，1973年1月30日（昭和48）【収録誌3】『小説への序章』河出文藝選書，1976年3月25日（昭和51）【収録誌4】『小説への序章』中公文庫，1979年3月10日（昭和54）

11月

21. 『内面への転回』（原題『小説への回転』）近代文学11・12月合併号【収録誌1】『小説への序章』一第3章一，河出書房，1968年2月1日（昭和43）【収録誌2】『辻邦生作品全六巻6』河出書房新社，1973年1月30日（昭和48）【収録誌3】『小説への序章』河出文藝選書，1976年3月25日（昭和51）【収録誌4】『小説への序章』中公文庫，1979年3月10日（昭和54）

12月

22. 『時間という耕地について』学習院大学新聞【収録誌】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961～1970，新潮社，1974年1月10日（昭和49）

1962年1月（昭和37）

23. 『影』近代文学【収録誌1】『異国から』晶文社，1968年8月30日（昭和43）【収録誌2】『辻邦生作品全六巻1』河出書房新社，1972年11月30日（昭和47）【収録誌3】『見知らぬ町にて』新潮文庫，1977年7月30日（昭和52）【収録誌4】『辻邦生全短篇』中央公論社，1978年10月5日（昭和53）【収録誌5】『辻邦生全短篇1』中公文庫，1986年4月10日（昭和61）【収録誌6】『シャルトル幻想』阿部出版，1990年9月10日（平成2）

2月

24. 『ロマネスクとワイン』嗜好【収録誌1】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961～1970，新潮社，1974年1月10日（昭和49）【収録誌2】田村隆一編『この金色の不定型な液体』〈楽しみと冒険4〉新潮社，1979年8月20日（昭和54）

3月

25. 『ある晩年』近代文学【収録誌1】『異国から』晶文社，1968年8月30日（昭和43）【収録誌2】『異邦にて』角川文庫，1972年8月30日（昭和47）【収録誌3】『辻邦生作品全六巻1』河出書房新社，1972年11月30日（昭和47）【収録誌4】『ある晩年』限定版，吾八ぶれす，1974年8月（昭和49）【収録誌5】『ある晩年』特製版，吾八ぶれす，1974年8月（昭和49）【収録誌6】『見知らぬ町にて』新潮文庫，1977年7月30日（昭和52）【収録誌7】『辻邦生全短編』中央公論社，1978年10月5日（昭和53）【収録誌8】『辻邦生全短篇1』中公文庫，1986年4月10日（昭和61）【収録誌9】『シャルトル幻想』阿部出版，1990年9月10日（平成2）

6月

26. 『スペインのかげりーアヴィラの街にてー』美術手帖【収録誌1】『異国から』晶文社，1968年8月30日（昭和43）【収録誌2】『辻邦生作品全六巻1』河出書房新社，1972年11月30日（昭和47）【収録誌3】『辻邦生全短篇』中央公論社，1978年10月5日（昭和53）【収録誌4】『辻邦生全短篇1』中公文庫，1986年4月10日（昭和61）

7月

27. 『回廊にて』近代文学（六回連載。1962年9・10月号は合併号。1963年第四回近代文学賞を受賞）【収録誌1】『回廊にて』新潮社，1963年7月15日（昭和38）【収録誌2】『辻邦生作品全六巻1』河出書房新社，1972年11月30日（昭和47）【収録誌3】『回廊にて』新潮文庫，1973年5月25日（昭和48）

- 【収録誌4】『新潮現代文学第64巻 回廊にて・嵯峨野明月記』新潮社, 1979年9月15日(昭和54)
1963年2月(昭和38)
28. 『旅の終り』藝術生活【収録誌1】『異国から』晶文社, 1968年8月30日(昭和43)【収録誌2】『異邦にて』角川文庫, 1972年8月30日(昭和47)【収録誌3】『辻邦生作品全六巻1』河出書房新社, 1972年11月30日(昭和47)【収録誌4】『サラマンカの手帖から』新潮文庫, 1975年10月30日(昭和50)【収録誌5】『辻邦生全短篇』中央公論社, 1978年10月5日(昭和53)【収録誌6】中村明編『講座日本語の表現・4表現のスタイル』筑摩書房, 1984年11月(昭和59)【収録誌7】『辻邦生全短篇1』中公文庫, 1986年4月10日(昭和61)【収録誌8】『昭和文学全集<辻邦生 小川国夫 加賀乙彦 高橋和巳 倉橋由美子 田久保英夫 黒井千次』第20巻, 小学館, 1987年4月1日(昭和62)
- 3月
29. 『実体と仮象』(原題「君の実体を垂直に注視すること」—実体と仮象—) 東大新聞【収録誌】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961~1970, 新潮社, 1974年1月10日(昭和49)
- 4月
30. 『蛙』美術手帖【収録誌1】『異国から』晶文社, 1968年8月30日(昭和43)【収録誌2】『蛙』(にいがた豆本・限定版) 鶴声居, 1971年5月1日(昭和46)【収録誌3】『辻邦生作品全六巻1』河出書房新社, 1972年11月30日(昭和47)【収録誌4】『サラマンカの手帖から』新潮文庫, 1975年10月30日(昭和50)【収録誌5】『辻邦生全短篇』中央公論社, 1978年10月5日(昭和53)【収録誌6】『辻邦生全短篇1』中公文庫, 1986年4月10日(昭和61)【収録誌7】“Les Paons La Grenouille Le Moinecigale et dix autres recits <1955~1970>” Nouvelles japonaises Tome 3, PICQUIER, 1988年4月(昭和63)【収録誌8】『遠い園生』阿部出版, 1990年11月30日(平成2)
- 5月
31. 『ふたつの悪夢』(原題「ディッケンズとドストエフスキー」)『新潮世界文学全集第13巻』月報【収録誌】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961~1970, 新潮社, 1974年1月10日(昭和49)
- 7月
32. 『チロルの冬旅』市政【収録誌1】『異国から』晶文社, 1968年8月30日(昭和43)【収録誌2】『辻邦生作品全六巻1』河出書房新社, 1972年11月30日(昭和47)【収録誌3】『辻邦生全短篇』中央公論社, 1978年10月5日(昭和53)【収録誌4】『辻邦生全短篇1』中公文庫, 1986年4月10日(昭和61)【収録誌5】『シャルトル幻想』阿部出版, 1990年9月10日(平成2年)
- 7月15日
27. 刊行:『回廊にて』新潮社
- 8月
33. 『宿命について—川端康成論—』(原題「川端康成論」) 文芸【収録誌1】三枝康高編『川端康成入門』有信堂, 1969年4月20日(昭和44)【収録誌2】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961~1970, 新潮社, 1974年1月10日(昭和49年)【収録誌3】羽鳥徹哉編『川端康成—日本の美学—』有精堂, 1990年6月5日(平成2)
- 9月
34. 『シャルトル幻想』市政【収録誌1】『異国から』晶文社, 1968年8月30日(昭和43)【収録誌2】『辻邦生作品全六巻1』河出書房新社, 1972年11月30日(昭和47)【収録誌3】『辻邦生全短篇』中央公論社, 1978年10月5日(昭和53)【収録誌4】『辻邦生全短篇1』中公文庫, 1986年4月10日(昭和61)【収録誌5】『シャルトル幻想』阿部出版, 1990年9月10日(平成2年)
- 11月30日
35. 刊行: マルセル・ブリヨン『死せる都市の復活I』翻訳(緒方禎亮と共訳), みすず書房 1964年1月18日(昭和39)

36. 『「全体性の恢復」への試み』図書新聞【収録誌】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961～1970, 新潮社, 1974年1月10日(昭和49)
4月25日
37. 『クロード・モネの世界』『みすず現代美術第22巻・モネ』みすず書房【収録誌1】『辻邦生作品全六巻6』河出書房新社, 1973年1月30日(昭和48)【収録誌2】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961～1970, 新潮社, 1974年1月10日(昭和49)【収録誌3】『橄欖の小枝』(『モネの見たもの』として再録)中央公論社, 1980年11月30日(昭和55)【収録誌4】『時の果実』朝日新聞社, 1984年6月25日(昭和59)
5月30日
38. 刊行: マルセル・ブリヨン『死せる都市の復活Ⅱ』翻訳(緒方禎亮と共訳)みすず書房
6月20日
39. 刊行: 『作家の秘密』翻訳(高松雄一, 宮本陽吉と共訳。サガン, モラービア, シムノン, モーリアック, パステルナークを担当)『作家の秘密—14人の作家とのインタビュー』新潮社
8月
40. 『小説の二, 三の問題』近代文学(終刊号)【収録誌】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961～1970, 新潮社, 1974年1月10日(昭和49)
11月
41. 『北杜夫との出会い』『新日本文学全集第32巻』月報, 集英社【収録誌1】『海辺の墓地から』辻邦生エッセー集1961～1970, 新潮社, 1974年1月10日(昭和49)【収録誌2】『時の果実』朝日新聞社, 1984年6月25日(昭和59)
1965年3月(昭和40)
42. 『前衛の姿勢について』(原題「現代作家論『因藤寿』」)美術手帖【収録誌】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961～1970, 新潮社, 1974年1月10日(昭和49)
5月
43. 『ポンペイ幻想』(原題「コルティ著『ポンペイ』」)みすず【収録誌1】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961～1970, 新潮社, 1974年1月10日(昭和49)【収録誌2】『ポケットの本机の本』〈楽しみと冒険〉シリーズ10, 新潮社, 1979年5月20日(昭和54)【収録誌3】『地中海幻想の旅から』レグルス文庫, 1990年5月30日(平成2)
5月16日
44. 『現代美の行方』中央大学新聞【収録誌】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961～1970, 新潮社, 1974年1月10日(昭和49)
10月
45. 『モネの言葉』美術手帖【収録誌】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961～1970, 新潮社, 1974年1月10日(昭和49)
12月
46. 『終末論の構図』文学【収録誌】『小説への序章』一第8章一, 河出書房, 1968年2月1日(昭和43)【収録誌2】『辻邦生作品全六巻6』河出書房新社, 1973年1月30日(昭和48)【収録誌3】『小説への序章』河出文藝選書, 1976年3月25日(昭和51)【収録誌4】『小説への序章』中公文庫, 1979年3月10日(昭和54)
1966年1月(昭和41)
47. 『巨匠訪問一①シャガール』翻訳(L. ゴルディーヌ&P. アスティエ『巨匠訪問』の翻訳)美術手帖
48. 『シチリアの夏の旅』美【収録誌1】『異国から』晶文社, 1968年8月30日(昭和43)【収録誌2】『辻邦生作品全六巻1』河出書房新社, 1972年11月30日(昭和47)【収録誌3】『辻邦生全短篇』中央公論

- 社, 1978年10月5日(昭和53)【収録誌4】『辻邦生全短篇1』中公文庫, 1986年4月10日(昭和61)
【収録誌5】『シャルトル幻想』阿部出版, 1990年9月10日(平成2)
49. 『パリの日々』小原流插花【収録誌1】『異国から』晶文社, 1968年8月30日(昭和43)【収録誌2】
『辻邦生作品全六巻1』河出書房新社, 1972年11月30日(昭和47)【収録誌3】『辻邦生全短篇』中央公
論社, 1978年10月5日(昭和53)【収録誌4】『辻邦生全短篇1』中公文庫, 1986年4月10日(昭和61)
【収録誌5】『シャルトル幻想』阿部出版, 1990年9月10日(平成2)
- 2月
50. 『巨匠訪問—②ピカソ』翻訳(L. ゴルディーン&P. アスティエ『巨匠訪問』の翻訳) 美術手帖
51. 『プルーストと全体性への視点』(原題「『全体性への視点』—プルーストの転換をめぐって」) 季刊
世界文学 2号【収録誌1】『小説への序章』—第5章—, 河出書房新社, 1968年2月1日(昭和43)
【収録誌2】『辻邦生作品全六巻6』河出書房新社, 1973年1月30日(昭和48)【収録誌3】『小説への
序章』河出文藝選書, 1976年3月25日(昭和51)【収録誌4】『小説への序章』中公文庫, 1979年3月
10日(昭和54)
- 2月28日
52. 『一つのルオー像』(原題「感動的な職人氣質—高田博庄『ルオー』」) 日本読書新聞【収録誌】『海辺
の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961~1970, 新潮社, 1974年1月10日(昭和49)
- 3月
53. 『巨匠訪問—③ジャコメッティ』翻訳(L. ゴルディーン&P. アスティエ『巨匠訪問』の翻訳) 美術
手帖
- 4月
54. 『巨匠訪問—④サルバドール・ダリ』翻訳(L. ゴルディーン&P. アスティエ『巨匠訪問』の翻訳)
美術手帖
- 5月
55. 『巨匠訪問—⑤デュビュッフェ』翻訳(L. ゴルディーン&P. アスティエ『巨匠訪問』の翻訳) 美術
手帖
- 6月
56. 『巨匠訪問—⑥ミロ』(L. ゴルディーン&P. アスティエ『巨匠訪問』の翻訳) 美術手帖
- 7月5日
57. 『埴谷雄高の世界』(原題「埴谷雄高—現代文学者の肖像—第11回」) 中央大学新聞【収録誌】『海辺
の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961~1970, 新潮社, 1974年1月10日(昭和49)
- 8月
58. 『空の王座』三田文学 復刊第1号(原稿の段階では『暗い流れ』—1964. 11. 14)【収録誌1】『異国
から』晶文社, 1968年8月30日(昭和43)【収録誌2】『異邦にて』角川文庫, 1972年8月30日(昭和
47)【収録誌3】『辻邦生作品全六巻3』河出書房新社, 1972年12月20日(昭和47年)【収録誌4】『見
知らぬ町にて』新潮文庫, 1977年7月30日(昭和52)【収録誌5】『辻邦生全短篇』中央公論社, 1978
年10月5日(昭和53)【収録誌6】『辻邦生全短篇1』中公文庫, 1986年4月10日(昭和61)
59. 『小説空間の意識』実存主義【収録誌1】『小説への序章』—第6章—, 河出書房新社, 1968年2月
1日(昭和43)【収録誌2】『辻邦生作品全六巻6』河出書房新社, 1973年1月30日(昭和48)【収録誌
3】『小説への序章』河出文藝選書, 1976年3月25日(昭和51)【収録誌4】『小説への序章』中公文
庫, 1979年3月10日(昭和54)
- 8月8日
60. 『宿命への眼ざし』(原題「中村真一郎『雲のゆき来』」) 日本読書新聞【収録誌】『霧の廃墟から』
辻邦生第三エッセー集1972~1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)

8月10日

61. 刊行：クールタード『占領』翻訳『世界の文学第52巻フランス名作集』中央公論社

10月

62. 『北の岬』審美、第4号【収録誌1】『北の岬』（限定版）湯川書房、1969年2月（昭和44）【収録誌2】『北の岬』筑摩書房、1970年9月25日（昭和45）【収録誌3】『辻邦生作品全六巻3』河出書房新社、1972年12月20日（昭和47年）【収録誌4】『北の岬』新潮文庫、1974年3月30日（昭和49）【収録誌5】『現代の文学・39』講談社、1974年12月16日（昭和49）【収録誌6】『筑摩現代文学体系・87 北杜夫・辻邦生集』筑摩書房、1976年3月15日（昭和51）【収録誌7】『辻邦生全短篇』中央公論社、1978年10月5日（昭和53）【収録誌8】『北海道文学全集第十八巻国境の海』立風書房、1981年6月10日（昭和56）【収録誌9】『辻邦生全短篇1』中公文庫、1986年4月10日（昭和61）【収録誌10】教育社編集部『書き出し美術館—小説の書き出し489』教育社、1989年11月30日（平成1）【収録誌11】『遠い園生』阿部出版、1990年11月30日（平成2）

63. 『北杜夫のユーモア』（原題「北杜夫『どくとるマンボウ途中下車』」）マドモアゼル【収録誌】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961～1970、新潮社、1974年1月10日（昭和49）

10月25日

64. 刊行：『夏の砦』書き下ろし長篇叢書・5、河出書房新社【収録誌1】『辻邦生集』〈新鋭作家叢書〉河出書房新社、1971年11月30日（昭和46）【収録誌2】『辻邦生作品全六巻2』河出書房新社、1972年10月30日（昭和47）【収録誌3】『夏の砦』限定版、河出書房新社、1974年7月30日（昭和49）【収録誌4】『夏の砦』新潮文庫、1975年2月27日（昭和50）【収録誌5】『夏の砦』河出文藝選書、1976年12月15日（昭和51）【収録誌6】Lenti Pevnost（『夏の砦』チェコ語版、ズデンカ・スワルコーカ訳）Vysehard・ブラハ、1985（昭和60年）【収録誌7】『夏の砦』文春文庫、1996年11月10日（平成8）

12月

65. 『献身』南北【収録誌1】『城・夜』河出書房新社、1969年2月28日（昭和44）【収録誌2】『献身』限定版、吾八プレス、1972年8月（昭和47）【収録誌3】『献身』特製版、吾八プレス、1972年8月（昭和47）【収録誌4】『辻邦生作品全六巻3』河出書房新社、1972年12月20日（昭和47）【収録誌5】『サラマンカの手帖から』新潮文庫、1975年10月30日（昭和50）【収録誌6】『城・夜』河出文芸選書、1977年8月15日（昭和52）【収録誌7】『辻邦生全短篇』中央公論社、1978年10月5日（昭和53）【収録誌8】『辻邦生全短篇1』中公文庫、1986年4月10日（昭和61）【収録誌9】『シャルトル幻想』阿部出版、1990年9月10日（平成2）

12月19日

66. 『とおい記憶』（原題「本に溺れた少年の日々」）日本読書新聞【収録誌】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961～1970、新潮社、1974年1月10日（昭和49）

1967年3月（昭和42）

67. 『見知らぬ町にて』風景【収録誌1】『異国から』晶文社、1968年8月30日（昭和43）【収録誌2】『異邦にて』角川文庫、1972年8月30日（昭和47）【収録誌3】『辻邦生作品全六巻3』河出書房新社、1972年12月20日（昭和47）【収録誌4】『現代名作集(二)』〈現代日本文学体系92〉筑摩書房、1973年3月23日（昭和48）【収録誌5】『筑摩現代文学体系・87 北杜夫・辻邦生集』筑摩書房、1976年3月15日（昭和51）【収録誌6】『見知らぬ町にて』新潮文庫、1977年7月30日（昭和52）【収録誌7】『辻邦生全短篇』中央公論社、1978年10月5日（昭和53）【収録誌8】『辻邦生全短篇1』中公文庫、1986年4月10日（昭和61）

4月

68. 『洪水の終り』文芸【収録誌1】『城・夜』河出書房新社、1969年2月28日（昭和44）【収録誌2】『異邦にて』角川文庫、1972年8月30日（昭和47）【収録誌3】『辻邦生作品全六巻3』河出書房新社、1972

- 年12月20日(昭和47)【収録誌4】『城・夜』河出文芸選書, 1977年8月15日(昭和52)【収録誌5】『辻邦生全短篇』中央公論社, 1978年10月5日(昭和53)【収録誌6】『辻邦生全短篇1』中公文庫, 1986年4月10日(昭和61)【収録誌7】『遠い園生』阿部出版, 1990年11月30日(平成2)
69. 『ユトリロの歌』(原題「ユトリロ展を見て」) 週刊読書人【収録誌1】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961~1970, 新潮社, 1974年1月10日(昭和49)【収録誌2】『橄欖の小枝』中央公論社, 1980年11月30日(昭和55)【収録誌3】『時の果実』朝日新聞社, 1984年6月25日(昭和59)
- 6月
70. 『イマージュの魅惑』(原題「宮川淳『鏡・空間・イマージュ』」) 現代詩手帖【収録誌】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961~1970, 新潮社, 1974年1月10日(昭和49)
71. 『イモーゼンの肖像』(原題「イモーゼン」) 婦人之友【収録誌】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961~1970, 新潮社, 1974年1月10日(昭和49)
- 7月
72. 『わが小説・理念と方法』座談(川村晃, なだいなだ, 吉村昭, 司会: 奥野健男) 南北
- 10月
73. 『芥川龍之介とフランス』『グリーン版日本文学全集第17巻』月報, 河出書房【収録誌】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961~1970, 新潮社, 1974年1月10日(昭和49)
- 12月
74. 『ディケンズと映像』(原題「ディケンズの小説的視点」「小説空間の映像」) 季刊 世界文学 7号【収録誌1】『小説への序章』一第7章一, 河出書房, 1968年2月1日(昭和43) 1968年1月【収録誌2】『辻邦生作品全六巻6』河出書房新社, 1973年1月30日(昭和48)【収録誌3】『小説への序章』河出文芸選書, 1976年3月25日(昭和51)【収録誌4】『小説への序章』中公文庫, 1979年3月10日(昭和54)
- 1968年1月(昭和43)
75. 『安土往還記』展望(150枚追加して1968年初夏に完成稿。1968年度第19回藝術選奨新人賞受章)【収録誌1】『安土往還記』(森有正への献辞) 筑摩書房, 1968年8月20日(昭和43)【収録誌2】『安土往還記』新潮文庫, 1972年4月25日(昭和47)【収録誌3】『辻邦生作品全六巻4』河出書房新社, 1973年2月27日(昭和48)【収録誌4】『安土往還記』限定版, 湯川書房, 1974年7月30日(昭和49)【収録誌5】『現代文学体系・87 北杜夫・辻邦生集』筑摩書房, 1976年3月15日(昭和51)【収録誌6】『安土往還記』(大活字版) 社会福祉法人埼玉福祉会, 1986年10月10日(昭和61)【収録誌7】『昭和文学全集<辻邦生 小川国夫 加賀乙彦 高橋和巳 倉橋由美子 田久保英夫 黒井千次>』第20巻, 小学館, 1987年4月1日(昭和62)【収録誌8】“The SIGNORE” 講談社インターナショナル(Stephen Snyderによる英訳), 1989年(平成1)【収録誌9】沼田純子『詩と小説』(最終場面を再録) 和泉書院, 1989年3月20日(平成1)【収録誌10】“O SIGNORE” ポルトガル語訳(英語訳から), Gradiva社(リスボン), 1992年6月1日(平成4)【収録誌11】『辻邦生歴史小説集成第一巻・安土往還記・十二の肖像画による十二の物語・十二の風景画への十二の旅』岩波書店, 1993年6月25日(平成5)
76. 『天草の雅歌』第一部(第一部は1968.12に終る) 婦人之友【収録誌1】『天草の雅歌』新潮社, 1971年4月20日(昭和46)【収録誌2】『辻邦生作品全六巻4』河出書房新社, 1973年2月27日(昭和48)【収録誌3】『天草の雅歌』新潮文庫, 1976年7月30日(昭和51)【収録誌4】『辻邦生歴史小説集成第二巻・天草の雅歌』岩波書店, 1992年9月24日(平成4)
- 2月
77. 『幼年時代』(原題「一本の棒きれ」) 小三教育技術【収録誌】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961~1970, 新潮社, 1974年1月10日(昭和49)
- 2月1日

78. 『あとがき—〈小説への序章〉』『小説への序章』河出書房
79. 刊行：『小説への序章』河出書房【収録誌1】『辻邦生作品全六巻6』河出書房新社，1973年1月30日（昭和48）【収録誌2】『小説への序章』河出文藝選書，1976年3月25日（昭和51）【収録誌3】『小説への序章』中公文庫，1979年3月10日（昭和54）
80. 『全体像の形成とその崩壊』『小説への序章』—第4章一，河出書房【収録誌1】『辻邦生作品全六巻6』河出書房新社，1973年1月30日（昭和48）【収録誌2】『小説への序章』河出文藝選書，1976年3月25日（昭和51）【収録誌3】『小説への序章』中公文庫，1979年3月10日（昭和54）
2月15日
81. 刊行：ウィリアム・ザイツ『モネ』〈世界の巨匠シリーズ〉翻訳（井口濃との共訳）美術出版社
2月20日
82. 『過去への銜』北杜夫『幽霊』解説，角川文庫【収録誌】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961～1970，新潮社，1974年1月10日（昭和49）
3月
83. 『叢林の果て』文學界【収録誌1】『北の岬』筑摩書房，1970年9月25日（昭和45）【収録誌2】『辻邦生作品全六巻3』河出書房新社，1972年12月20日（昭和47年）【収録誌3】『北の岬』新潮文庫，1974年3月30日（昭和49）【収録誌4】『辻邦生全短篇』中央公論社，1978年10月5日（昭和53）【収録誌5】『辻邦生全短篇2』中公文庫，1986年6月10日（昭和61）【収録誌6】『黄昏の古都物語』有学書林，1992年7月31日（平成4）
3月25日
84. 『生きた思索者』『森有正対話集 言葉・事物・経験』あとがき，晶文社【収録誌1】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961～1970，新潮社，1974年1月10日（昭和49）【収録誌2】『森有正 感覚のめざすもの』（改題『生きること話すこと』）筑摩書房，1980年12月10日（昭和55）
4月
85. 『ある告別』三田文学【収録誌1】『異国から』晶文社，1968年8月30日（昭和43）【収録誌2】『異邦にて』角川文庫，1972年8月30日（昭和47）【収録誌3】『辻邦生作品全六巻3』河出書房新社，1972年12月20日（昭和47）【収録誌4】『ある告別』限定版，吾八ぶれず，1973年4月19日（昭和48）【収録誌5】『ある告別』特製版，吾八ぶれず，1973年4月19日（昭和48）【収録誌6】『サラマンカの手帖から』新潮文庫，1975年10月30日（昭和50）【収録誌7】『辻邦生全短篇』中央公論社，1978年10月5日（昭和53）【収録誌8】『辻邦生全短篇2』中公文庫，1986年6月10日（昭和61）【収録誌9】『昭和文学全集〈辻邦生 小川国夫 加賀乙彦 高橋和巳 倉橋由美子 田久保英夫 黒井千次〉』第20巻，小学館，1987年4月1日（昭和62）
86. 『夜』文芸【収録誌1】『城・夜』河出書房新社，1969年2月28日（昭和44）【収録誌2】『辻邦生作品全六巻3』河出書房新社，1972年12月20日（昭和47年）【収録誌3】『見知らぬ町にて』新潮文庫，1977年7月30日（昭和52）【収録誌4】『城・夜』河出文芸選書，1977年8月15日（昭和52）【収録誌5】『辻邦生全短篇』中央公論社，1978年10月5日（昭和53）【収録誌6】『辻邦生全短篇2』中公文庫，1986年6月10日（昭和61）【収録誌7】『黄昏の古都物語』有学書林，1992年7月31日（平成4）
4月15日
87. 『ボナールの夢』（原題「ボナール展を見る」）週刊読書人【収録誌1】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961～1970，新潮社，1974年1月10日（昭和49）【収録誌2】『橄欖の小枝』中央公論社，1980年11月30日（昭和55）【収録誌3】『時の果実』朝日新聞社，1984年6月25日（昭和59）
5月
88. 『パリの雀のことなど』言語生活【収録誌1】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961～1970，新潮社，1974年1月10日（昭和49）【収録誌2】『地中海幻想の旅から』レグルス文庫，1990年5月30

日(平成2)

5月20日

89. 『永遠なるシェイクスピア』(原題「比類ないシェイクスピア研究—ヤン・コット『シェイクスピアはわれらの同時代人』) 書評, 週刊読書人【収録誌】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961~1970, 新潮社, 1974年1月10日(昭和49)

5月21日

90. 『昔のバリいまのバリ』サンケイ新聞 夕刊【収録誌1】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961~1970, 新潮社, 1974年1月10日(昭和49)【収録誌2】『地中海幻想の旅から』レグルス文庫, 1990年5月30日(平成2)

6月

91. 『主題からの探索』文學界【収録誌1】『異国から』晶文社, 1968年8月30日(昭和43)【収録誌2】『辻邦生作品全六巻6』河出書房新社, 1973年1月30日(昭和48)【収録誌3】『時の果実』朝日新聞社, 1984年6月25日(昭和59)

7月

92. 『バリの北杜夫』(原題「北杜夫はいかにしてパリに現われたかということなど」)新刊ニュース【収録誌】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961~1970, 新潮社, 1974年1月10日(昭和49)
93. 『風塵』季刊藝術 第6号【収録誌1】『風塵』豪華限定本, 湯川書房, 1970年4月15日(昭和45)【収録誌2】『北の岬』筑摩書房, 1970年9月25日(昭和45)【収録誌3】『辻邦生作品全六巻3』河出書房新社, 1972年12月20日(昭和47)【収録誌4】『北の岬』新潮文庫, 1974年3月30日(昭和49)【収録誌5】『辻邦生全短篇』中央公論社, 1978年10月5日(昭和53)【収録誌6】『辻邦生全短篇2』中公文庫, 1986年6月10日(昭和61)

8月20日

75. 刊行:『安土往還記』筑摩書房

8月30日

94. 刊行:『異国から』短篇集, 晶文社

95. 『後記にかえて—〈異国から〉』『異国から』晶文社

9月

96. 『嵯峨野明月記』第一部, 新潮【収録誌1】『嵯峨野明月記』新潮社, 1971年9月15日(昭和46)【収録誌2】『嵯峨野明月記』(限定版)新潮社, 1971年9月15日(昭和46)【収録誌3】『辻邦生作品全六巻5』河出書房新社, 1973年3月30日(昭和48)【収録誌4】『新潮現代文学第64巻 回廊にて・嵯峨野明月記』新潮社, 1979年9月15日(昭和54)【収録誌5】辻邦生/河野元昭編『日本美を語る』九巻(『嵯峨野明月記』の一部が「小説の中の光悦」として収録)ぎょうせい, 1989年4月1日(平成1)【収録誌6】教育社編集部『書き出し美術館—小説の書き出し489』(『嵯峨野明月記』書き出しの部分), 教育社, 1989年11月30日(平成1)【収録誌7】『嵯峨野明月記』中公文庫, 1990年8月20日(平成2)【収録誌8】『辻邦生歴史小説集成第三巻・嵯峨野明月記』岩波書店, 1992年10月26日(平成4)

10月

97. 『恋のかたみ』ハイファッション【収録誌1】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961~1970, 新潮社, 1974年1月10日(昭和49)【収録誌2】『地中海幻想の旅から』レグルス文庫, 1990年5月30日(平成2)

98. 『ドゥイノの悲歌』学習院輔仁会雑誌【収録誌】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961~1970, 新潮社, 1974年1月10日(昭和49)

12月23日

99. 『変ったパリ変らぬパリ・上』朝日新聞 夕刊【収録誌1】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー

- 集1961～1970, 新潮社, 1974年1月10日(昭和49)【収録誌2】『地中海幻想の旅から』レグルス文庫, 1990年5月30日(平成2)
- 12月24日
100. 『変ったパリ変らぬパリ・下』朝日新聞 夕刊【収録誌1】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961～1970, 新潮社, 1974年1月10日(昭和49)【収録誌2】『地中海幻想の旅から』レグルス文庫, 1990年5月30日(平成2)
- 1969年2月(昭和44)
62. 刊行:『北の岬』(限定版)湯川書房
2月20日
101. 『古川久 くちなしの花 あとがき』古川久『くちなしの花』
2月28日
102. 『あとがき一〈城・夜〉』『城・夜』河出書房新社
103. 刊行:『城・夜』短篇集, 河出書房新社
4月15日
104. 『復活祭前後一失われてゆくパリの静けさ一』サンケイ新聞 夕刊
6月
105. 『地図と宿命』藝術新潮【収録誌1】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961～1970, 新潮社, 1974年1月10日(昭和49)【収録誌2】『遊びなのか学問か』〈エッセー おとなの時間〉シリーズ, 新潮社, 1985年8月20日(昭和60)
106. 『ユリアヌスの浴場跡』海 発刊記念号【収録誌1】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961～1970, 新潮社, 1974年1月10日(昭和49)【収録誌2】『辻邦生歴史小説集成第十二巻・歴史小説論・歴史小説創作ノート』岩波書店, 1993年10月21日(平成5)
- 7月
107. 『背教者ユリアヌス』海 創刊号から連載(昭和47年度毎日芸術賞を受賞)【収録誌1】『背教者ユリアヌス』中央公論社, 1972年10月30日(昭和47)【収録誌2】『背教者ユリアヌス』上(1974.12.10)中(1975.1.10)下(1975.2.10), 中公文庫【収録誌3】『背教者ユリアヌス』限定版, 中央公論社, 1975年11月30日(昭和50)【収録誌4】『辻邦生歴史小説集成第四巻・背教者ユリアヌスⅠ』岩波書店, 1992年11月25日(平成4), 『辻邦生歴史小説集成第五巻・背教者ユリアヌスⅡ』岩波書店, 1992年12月22日(平成4), 『辻邦生歴史小説集成第六巻・背教者ユリアヌスⅢ』岩波書店, 1993年1月25日(平成5)
- 8月
108. 『西の国から』『世界文学全集第46巻』月報, 講談社【収録誌】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961～1970, 新潮社, 1974年1月10日(昭和49)
- 10月8日
109. 『文学のなかの現実』読売新聞 夕刊【収録誌1】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961～1970, 新潮社, 1974年1月10日(昭和49)【収録誌2】『時の果実』朝日新聞社, 1984年6月25日(昭和59)
- 10月20日
110. 『モンマルトル住い』(原題「パリの底辺のドラマと詩」)週刊読書人【収録誌1】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961～1970, 新潮社, 1974年1月10日(昭和49)【収録誌2】『詩への旅 詩からの旅』筑摩書房, 1974年12月17日(昭和49)【収録誌3】『時の果実』朝日新聞社, 1984年6月25日(昭和59)【収録誌4】『地中海幻想の旅から』レグルス文庫, 1990年5月30日(平成2)
- 11月

111. 『オーヴェールにて』ちくま【収録誌1】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961～1970, 新潮社, 1974年1月10日(昭和49)【収録誌2】『詩への旅 詩からの旅』筑摩書房, 1974年12月17日(昭和49)
112. 『われらの文学と方法』シンポジウム(丸谷オ一, 加賀乙彦と共に), 海
11月1日
113. 『フランスの知恵』サンケイ新聞 夕刊【収録誌1】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961～1970, 新潮社, 1974年1月10日(昭和49)【収録誌2】『地中海幻想の旅から』レグルス文庫, 1990年5月30日(平成2)
11月13日
114. 『フランス文化近況』(原題『反小説』が主流に—フランス文化近況—)日本経済新聞【収録誌】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961～1970, 新潮社, 1974年1月10日(昭和49)
12月
115. 『基督降誕祭前後』立教チャペル・ニュース【収録誌1】『辻邦生作品全六巻6』河出書房新社, 1973年1月30日(昭和48)【収録誌2】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961～1970, 新潮社, 1974年1月10日(昭和49)【収録誌3】『詩への旅 詩からの旅』筑摩書房, 1974年12月17日(昭和49)
116. 『ノーベル文学賞前後』『川端康成全集第四巻』月報, 新潮社【収録誌】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961～1970, 新潮社, 1974年1月10日(昭和49)
1970年1月(昭和45)
117. 『天草の雅歌』第二部(第二部は1970.12に終る)婦人之友【収録誌1】『天草の雅歌』新潮社, 1971年4月20日(昭和46)【収録誌2】『辻邦生作品全六巻4』河出書房新社, 1973年2月27日(昭和48)【収録誌3】『天草の雅歌』新潮文庫, 1976年7月30日(昭和51)【収録誌4】『辻邦生歴史小説集成第二巻・天草の雅歌』岩波書店, 1992年9月24日(平成4)
118. 『トーマス・マンを語る』対談(北杜夫)展望【収録誌1】『若き日と文学と』中央公論社, 1970年7月20日(昭和45)【収録誌2】『若き日と文学と』中公文庫, 1970年7月20日(昭和45)
119. 『図書館と創作と』丸善ライブラリーニュース No.72【収録誌】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961～1970, 新潮社, 1974年1月10日(昭和49)
120. 『バルムの僧院』と現実理解『世界文学全集第16巻』月報, 筑摩書房【収録誌1】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961～1970, 新潮社, 1974年1月10日(昭和49)【収録誌2】『時の果実』朝日新聞社, 1984年6月25日(昭和59)
2月
121. 『早春のパリ』(原題「パリの早春」)パス・ポート No.185【収録誌1】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961～1970, 新潮社, 1974年1月10日(昭和49)【収録誌2】『詩への旅 詩からの旅』筑摩書房, 1974年12月17日(昭和49)【収録誌3】『地中海幻想の旅から』レグルス文庫, 1990年5月30日(平成2)
122. 『ファウスト的風土』『新集世界の文学第4巻』月報, 中央公論社【収録誌】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961～1970, 新潮社, 1974年1月10日(昭和49)
123. 『四谷時代の北杜夫』『現代日本文学体系第88巻』月報, 筑摩書房【収録誌】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961～1970, 新潮社, 1974年1月10日(昭和49)
2月4日
124. 『想像力のかなた—“人生の虚妄”を見すえて—』朝日新聞 夕刊【収録誌】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961～1970, 新潮社, 1974年1月10日(昭和49)
3月

125. 『わが信州』『新編日本の旅第6巻』月報, 小学館【収録誌1】『辻邦生作品全六巻6』河出書房新社, 1973年1月30日(昭和48)【収録誌2】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961~1970, 新潮社, 1974年1月10日(昭和49)【収録誌3】『詩への旅 詩からの旅』筑摩書房, 1974年12月17日(昭和49)【収録誌4】『われらの青春ここにありき』松本高等学校同窓会, 1978年9月(昭和53)【収録誌5】『第三期長野県文学全集8〈現代作家編〉』郷土出版社, 1990年11月14日(平成2)4月
126. 『言語と小説の宿命』国語通信【収録誌】『辻邦生作品全六巻6』河出書房新社, 1973年1月30日(昭和48)
127. 『都会の白いページ』藝術新潮【収録誌】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961~1970, 新潮社, 1974年1月10日(昭和49)4月15日
93. 刊行:『風塵』豪華限定本, 湯川書房4月20日
128. 『橋』週刊アンボ 第12号【収録誌1】『それで事は始まる』合同出版, 1972年4月27日(昭和47)【収録誌2】『辻邦生作品全六巻5』河出書房新社, 1973年3月30日(昭和48)【収録誌3】『秋の朝 光のなかで』筑摩書房, 1976年8月20日(昭和51)【収録誌4】『見知らぬ町にて』新潮文庫, 1977年7月30日(昭和52)【収録誌5】『辻邦生全短篇』中央公論社, 1978年10月5日(昭和53)【収録誌6】『辻邦生全短篇1』中公文庫, 1986年4月10日(昭和61)【収録誌7】『遠い園生』阿部出版, 1990年11月30日(平成2)4月21日
129. 『フランスの迷信』NHKラジオ第1放送「趣味の手帖」【収録誌】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961~1970, 新潮社, 1974年1月10日(昭和49)5月
130. 『エミリの周囲』(原題「ソーントン・ワイルダー『わが町』」)全国学園新聞【収録誌1】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961~1970, 新潮社, 1974年1月10日(昭和49)【収録誌2】『時の果実』朝日新聞社, 1984年6月25日(昭和59)
131. 『山陰の旅から』『酒』酒之友社【収録誌1】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961~1970, 新潮社, 1974年1月10日(昭和49)【収録誌2】『詩への旅 詩からの旅』筑摩書房, 1974年12月17日(昭和49)
132. 『聖書からの呼び声』『聖書の世界第1巻』月報, 講談社【収録誌】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961~1970, 新潮社, 1974年1月10日(昭和49)
133. 『精神の領域』立教大学生部通信【収録誌1】『辻邦生作品全六巻6』河出書房新社, 1973年1月30日(昭和48)【収録誌2】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961~1970, 新潮社, 1974年1月10日(昭和49)6月
134. 『円形劇場から』人間として 第2号【収録誌1】『北の岬』筑摩書房, 1970年9月25日(昭和45年)【収録誌2】『辻邦生作品全六巻5』河出書房新社, 1973年3月30日(昭和48)【収録誌3】『北の岬』新潮文庫, 1974年3月30日(昭和49)【収録誌4】『筑摩現代文学体系・87 北杜夫・辻邦生集』筑摩書房, 1976年3月15日(昭和51)【収録誌5】『円形劇場から』限定版, 吾八ぶれず, 1977年2月(昭和52)【収録誌6】『辻邦生全短篇』中央公論社, 1978年10月5日(昭和53)【収録誌7】『辻邦生全短篇2』中公文庫, 1986年6月10日(昭和61)【収録誌8】『遠い園生』阿部出版, 1990年11月30日(平成2)
135. 『ディケンズの道』(原題「ディケンズとの出会い」)英語研究〈ディケンズ没後100年記念臨時増刊号〉【収録誌1】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961~1970, 新潮社, 1974年1月10日

- (昭和49)【収録誌2】『時の果実』朝日新聞社, 1984年6月25日(昭和59)
136. 『夢想のための書庫』創文 第68号【収録誌1】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961~1970, 新潮社, 1974年1月10日(昭和49)【収録誌2】『辻邦生歴史小説集成第十二巻・歴史小説論・歴史小説創作ノート』岩波書店, 1993年10月21日(平成5)
137. 『闇と創造力と』劇団四季パンフレット【収録誌】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961~1970, 新潮社, 1974年1月10日(昭和49)
138. 『ランデルスにて』風景【収録誌1】『北の岬』筑摩書房, 1970年9月25日(昭和45)【収録誌2】『辻邦生作品全六巻5』河出書房新社, 1973年3月30日(昭和48)【収録誌3】『北の岬』新潮文庫, 1974年3月30日(昭和49)【収録誌4】『辻邦生全短篇』中央公論社, 1978年10月5日(昭和53)【収録誌5】『辻邦生全短篇2』中公文庫, 1986年6月10日(昭和61)【収録誌6】『昭和文学全集<辻邦生小川国夫 加賀乙彦 高橋和巳 倉橋由美子 田久保英夫 黒井千次>』第20巻, 小学館, 1987年4月1日(昭和62)
139. 『歴史小説の地平』『講座世界歴史第10巻』月報, 岩波書店【収録誌1】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961~1970, 新潮社, 1974年1月10日(昭和49)【収録誌2】『時の果実』朝日新聞社, 1984年6月25日(昭和59)【収録誌3】『辻邦生歴史小説集成第十二巻・歴史小説論・歴史小説創作ノート』岩波書店, 1993年10月21日(平成5)
- 6月20日
140. 『南蛮文化を語る』対談(岡田章雄, 坂本満らとの座談会) 小学館『原色日本の美術第21巻』月報 6月24日
141. 『闇への凝視』(原題「意識内部の闇の探求—植谷雄高『闇のなかの黒い馬』—) 読売新聞 夕刊【収録誌】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961~1970, 新潮社, 1974年1月10日(昭和49) 7月4日
142. 『幸福について』(原題「『人間らしさ』への帰還」) サンケイ新聞 夕刊【収録誌1】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961~1970, 新潮社, 1974年1月10日(昭和49)【収録誌2】『ボンボヤージュ』1976年3月(昭和51)
- 7月15日
143. 『長崎天草を訪ねて』小学館『新編日本の旅第14巻』月報【収録誌1】『辻邦生作品全六巻6』河出書房新社, 1973年1月30日(昭和48)【収録誌2】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961~1970, 新潮社, 1974年1月10日(昭和49)【収録誌3】『詩への旅 詩からの旅』筑摩書房, 1974年12月17日(昭和49)【収録誌4】高橋義孝編『旅情100選—エッセー編』(抄録) 日本交通公社, 1980年7月20日(昭和55)【収録誌5】『日本随筆紀行 異国の響きが聞こえてくる<22—長崎>』作品社, 1987年6月10日(昭和62)
- 7月20日
144. 『あとがき—若き日と文学と』『若き日と文学と』中央公論社
145. 刊行:『若き日と文学と』(北社夫と対談) 対談集, 中央公論社 8月12日
146. 『愛の孤独について』解説『新潮日本文学第49巻福永武彦集』【収録誌】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961~1970, 新潮社, 1974年1月10日(昭和49)
- 9月
147. 『コロンボの仏僧たち』大法輪【収録誌】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961~1970, 新潮社, 1974年1月10日(昭和49)
148. 『想像的世界の地平』人間として 第3号【収録誌1】『辻邦生作品全六巻6』河出書房新社, 1973年1月30日(昭和48)【収録誌2】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972~1973, 新潮社, 1976年

10月20日(昭和51)

9月25日

149. 『あとがき—北の岬』『北の岬』筑摩書房

62. 刊行：『北の岬』短篇集，筑摩書房

10月

150. 『パリの書齋』(原題「森有正氏の書齋」) レアリテ【収録誌1】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961～1970，新潮社，1974年1月10日(昭和49)【収録誌2】『森有正 感覚のめざすもの』筑摩書房，1980年12月10日(昭和55)

10月15日

151. 『中部イタリアの旅』『新編 世界の旅第7巻 イタリア』小学館【収録誌1】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961～1970，新潮社，1974年1月10日(昭和49)【収録誌2】『詩への旅 詩からの旅』筑摩書房，1974年12月17日(昭和49)【収録誌3】『紀行全集 世界体験・7』河出書房新社，1978年4月24日(昭和53)【収録誌4】『地中海幻想の旅から』レグルス文庫，1990年5月30日(平成2)

11月15日

152. 『やきものの里』『新編日本の旅第7巻 東海・飛騨』小学館【収録誌】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961～1970，新潮社，1974年1月10日(昭和49)

11月16日

153. 『信州と東京と』(原題「信州で東京をしのぶ」)朝日新聞【収録誌】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961～1970，新潮社，1974年1月10日(昭和49)

12月

154. 『海辺の墓地から』立教チャペル・ニュース【収録誌1】『辻邦生作品全六巻6』河出書房新社，1973年1月30日(昭和48)【収録誌2】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961～1970，新潮社，1974年1月10日(昭和49)【収録誌3】『詩への旅 詩からの旅』筑摩書房，1974年12月17日(昭和49)【収録誌4】辻邦生編『日本の名随筆 56 海』作品社，1987年6月25日(昭和62)【収録誌5】『地中海幻想の旅から』レグルス文庫，1990年5月30日(平成2)

155. 『鐘』アムウ【収録誌1】『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集1961～1970，新潮社，1974年1月10日(昭和49)【収録誌2】『詩への旅 詩からの旅』筑摩書房，1974年12月17日(昭和49)

1971年1月(昭和46)

156. 『ギリシアの旅の終りに』週刊言論【収録誌】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971～1972，新潮社，1974年2月10日(昭和49)

157. 『ささやかな印象から』『小田実全仕事 第3巻』月報，河出書房新社【収録誌】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971～1972，新潮社，1974年2月10日(昭和49)

2月

158. 『ある触れあい』『カラー版日本文学全集 第47巻』月報，河出書房新社【収録誌】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971～1972，新潮社，1974年2月10日(昭和49)

159. 『悲劇の終末』新潮<三島由紀夫追悼号>【収録誌】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971～1972，新潮社，1974年2月10日(昭和49)

3月

160. 『嵯峨野明月記』第二部，新潮【収録誌1】『嵯峨野明月記』新潮社，1971年9月15日(昭和46)【収録誌2】『嵯峨野明月記』(限定版)新潮社，1971年9月15日(昭和46)【収録誌3】『辻邦生作品全六巻5』河出書房新社，1973年3月30日(昭和48)【収録誌4】『現代文学第64巻 回廊にて・嵯峨野明月記』新潮社，1979年9月15日(昭和54)【収録誌5】『嵯峨野明月記』中公文庫，1990年8月20日(平成2)【収録誌6】『辻邦生歴史小説集成第三巻・嵯峨野明月記』岩波書店，1992年10月6日(平成4)

161. 『想像力と現実』立教【収録誌】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971～1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)
162. 『東洋の美・西洋の美』共同通信【収録誌】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971～1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)
- 3月
163. 『わが文学を語る: ヨーロッパ体験と小説—宗教的なもの・美的なもの—』対談(篠田一士) 文学界【収録誌1】『灰色の石に坐りて』中央公論社, 1974年7月10日(昭和49)【収録誌2】『灰色の石に坐りて』中公文庫, 1978年1月10日(昭和53)
- 3月16日
164. 『文学における全体と部分』(原題「現代にとって文学とはなにか <3/16(上)全体像, 先に捉えたい> <3/17(下)視点の決定的な転換>」) 読売新聞【収録誌1】『現代にとって文学とは何か』読売新聞社, 1971年11月10日(昭和46)【収録誌2】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971～1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)【収録誌3】『時の果实』朝日新聞社, 1984年6月25日(昭和59)【収録誌4】『辻邦生歴史小説集成第十二巻・歴史小説論・歴史小説創作ノート』岩波書店, 1993年10月21日(平成5)
- 4月
165. 『ある肖像』『渡辺一夫著作集第5巻』月報, 筑摩書房【収録誌1】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971～1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)【収録誌2】『時の果实』朝日新聞社, 1984年6月25日(昭和59)
166. 『「廃墟」の彼方へ』推薦文, 清水徹『廃墟について』河出書房新社 帯【収録誌】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)
167. 『ヨーロッパの汽車旅』パス・ポート No.199【収録誌1】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971～1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)【収録誌2】『詩への旅 詩からの旅』筑摩書房, 1974年12月17日(昭和49)【収録誌3】『時の果实』朝日新聞社, 1984年6月25日(昭和59)【収録誌4】『地中海幻想の旅から』レグルス文庫, 1990年5月30日(平成2)
168. 『歴史の顔から』中央公論【収録誌1】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971～1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)【収録誌2】『辻邦生歴史小説集成第十二巻・歴史小説論・歴史小説創作ノート』岩波書店, 1993年10月21日(平成5)
- 4月8日
169. 『シェイクスピアの真実』サンケイ新聞 夕刊【収録誌】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971～1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)
- 4月13日
170. 『小説と時間意識』東京新聞 夕刊【収録誌1】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971～1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)【収録誌2】『時の果实』朝日新聞社, 1984年6月25日(昭和59)【収録誌3】三木卓 編『日本の名随筆 91 時』作品社, 1990年5月25日(平成2)
- 4月15日
171. 『大雅の道』(原題「書人の伝記」)『書道芸術 第十九巻 池大雅』中央公論社【収録誌1】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971～1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)【収録誌2】中田勇次郎 編『日本書人伝』中央公論社, 1974年2月20日(昭和49)【収録誌3】『橄欖の小枝』中央公論社, 1980年11月30日(昭和55)
- 4月20日
76. 117. 刊行: 『天草の雅歌』新潮社
- 5月
172. 『異国の影の下』ライフ・スタディ【収録誌】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971～1972,

- 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)
173. 『回想のシャルトル』 クック【収録誌1】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971～1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)【収録誌2】『詩への旅 詩からの旅』筑摩書房, 1974年12月17日(昭和49)【収録誌3】『地中海幻想の旅から』レグルス文庫, 1990年5月30日(平成2)
174. 『感覚のめざすもの』(原題「感覚のめざすもの—森有正論の試み」) 思想【収録誌1】『辻邦生作品全六巻6』河出書房新社, 1973年1月30日(昭和48)【収録誌2】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971～1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)【収録誌3】『森有正 感覚のめざすもの』筑摩書房, 1980年12月10日(昭和55)
175. 『青春のなかのトーマス・マン』『新潮世界文学全集第33巻』月報, 新潮社【収録誌1】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971～1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)【収録誌2】『時の果実』朝日新聞社, 1984年6月25日(昭和59)
176. 『地中海幻想』太陽【収録誌1】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971～1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)【収録誌2】『時の果実』朝日新聞社, 1984年6月25日(昭和59)【収録誌3】井上靖編『日本の名随筆 33 水』作品社, 1985年7月25日(昭和60)【収録誌4】『地中海幻想の旅から』レグルス文庫, 1990年5月30日(平成2)
- 5月1日
30. 刊行:『蛙』(限定版)にいがた豆本, 鶴声居
- 5月14日
177. 『想像力の中の歴史』読売新聞【収録誌1】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971～1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)【収録誌2】『時の果実』朝日新聞社, 1984年6月25日(昭和59)【収録誌3】『辻邦生歴史小説集成第十二巻・歴史小説論・歴史小説創作ノート』岩波書店, 1993年10月21日(平成5)
- 5月25日
178. 『ある挽歌』北杜夫『楡家の人々』解説, 新潮文庫【収録誌】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971～1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)
- 5月28日
179. 『二十歳のあいつ』(原題「小沢協央との出会い」) 小沢協央著『円空(一心)』あとがき, 集団形星【収録誌】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971～1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)
- 6月
180. 『思い出すままに』人間として〈高橋和巳追悼号〉【収録誌】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971～1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)
181. 『小さい事を見直す』座談会(鈴木俊郎, 西堀英三郎, 山中明子, 山領マリ) 婦人之友
182. 『埴谷雄高氏との出会い』『埴谷雄高作品集第3巻』月報, 河出書房新社【収録誌1】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971～1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)【収録誌2】『時の果実』朝日新聞社, 1984年6月25日(昭和59)
- 7月
183. 『石に傾聴するもの』(原題「饗庭孝男『石と光の思想』」) 文芸【収録誌】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971～1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)
184. 『雲の果ての旅』(原題「私の中の日本人—松尾芭蕉—」) 波 7・8月合併号【収録誌1】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971～1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)【収録誌2】『私の中の日本人』新潮社, 1976年11月1日(昭和51)
185. 『三人の芸術家の肖像』文学界【収録誌】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971～1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)

186. 『その死の前後—高橋和巳の死—』新潮【収録誌】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971～1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)
8月
187. 『神様の四人の娘』暮らしの設計【収録誌1】『神様の四人の娘』限定版, 湯川書房, 1972年12月10日(昭和47)【収録誌2】『北杜夫・辻邦生集』《筑摩現代文学体系・87》筑摩書房, 1976年3月15日(昭和51)【収録誌3】『秋の朝 光のなかで』筑摩書房, 1976年8月20日(昭和51)【収録誌4】『辻邦生全短篇』中央公論社, 1978年10月5日(昭和53)【収録誌5】『辻邦生全短篇2』中公文庫, 1986年6月10日(昭和61)【収録誌6】『黄昏の古都物語』有学書林, 1992年7月31日(平成4)
- 9月
188. 『<天草の雅歌>を語る』対談(古屋健三), 三田文学【収録誌1】『灰色の石に坐りて』中央公論社, 1974年7月10日(昭和49)【収録誌2】『灰色の石に坐りて』中公文庫, 1978年1月10日(昭和53)
189. 『子供の国のファンタジー』(原題「ファンタジーと子供—『ユリアと魔法の都』を書きおえて—)ちくま【収録誌1】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971～1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)【収録誌2】『時の果実』朝日新聞社, 1984年6月25日(昭和59)
9月15日
96. 160. 刊行:『嵯峨野明月記』新潮社
96. 160. 刊行:『嵯峨野明月記』(限定版)新潮社
9月20日
190. 『物語の根底にあるもの』サンケイ新聞 夕刊【収録誌】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971～1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)
9月29日
191. 『ラムに魅せられて』(原題「清澄, 浄福の世界—ラム伝」)毎日新聞【収録誌1】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971～1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)【収録誌2】『時の果実』朝日新聞社, 1984年6月25日(昭和59)
- 10月
192. 『バロックの詩と真実』(原題「はじめて開かれるローマ・バロック展」)藝術新潮【収録誌1】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)【収録誌2】『橄欖の小枝』中央公論社, 1980年11月30日(昭和55)【収録誌3】『時の果実』朝日新聞社, 1984年6月25日(昭和59)
- 11月
193. 『<明暗>の世界』文芸春秋 別冊<日本の作家100人>【収録誌】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971～1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)
11月30日
194. 刊行:『新鋭作家叢書 辻邦生集』河出書房新社
12月
195. 『ねこの歌』長田弘『ねこに未来はない』推薦文 帯, 晶文社【収録誌】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971～1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)
196. 『不思議な満足感』『幸田成友著作集』推薦文, 中央公論社【収録誌】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)
12月10日
197. 『あとがき—<ユリアと魔法の都>』『ユリアと魔法の都』筑摩書房
198. 刊行:『ユリアと魔法の都』ちくま少年文学館 筑摩書房【収録誌】『ユリアと魔法の都』新装版, 筑摩書房, 1980年6月10日(昭和55)

1972年1月(昭和47)

199. 『過去の泉から汲みとるもの』現代詩手帖【収録誌】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971～1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)
200. 『サラマンカの手帖から』文学界【収録誌1】『辻邦生作品全六巻5』河出書房新社, 1973年3月30日(昭和48)【収録誌2】『サラマンカの手帖から』新潮文庫, 1975年10月30日(昭和50)【収録誌3】『筑摩現代文学体系・87 北杜夫・辻邦生集』筑摩書房, 1976年3月15日(昭和51)【収録誌4】『秋の朝 光のなかで』筑摩書房, 1976年8月20日(昭和51)【収録誌5】『辻邦生全短篇』中央公論社, 1978年10月5日(昭和53)【収録誌6】『辻邦生全短篇2』中公文庫, 1986年6月10日(昭和61)【収録誌7】『黄昏の古都物語』有学書林, 1992年7月31日(平成4)
201. 『創作ノート』から』早稲田文学〈作家ノート・1〉
202. 『時の流れから』(原題「一頁文芸批評」) 文芸【収録誌】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971～1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)
203. 『パリで読んだトーマス・マン』『トーマス・マン全集第1巻』月報, 新潮社【収録誌】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971～1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)
204. 『春の戴冠』新潮【収録誌1】『春の戴冠』(上)(下)二冊, 新潮社, 1977年5月25日(昭和52)【収録誌2】『辻邦生歴史小説集成第七巻・春の戴冠・Ⅰ』岩波書店, 1993年2月25日(平成5), 『辻邦生歴史小説集成第八巻・春の戴冠・Ⅱ』岩波書店, 1993年3月25日(平成5), 『辻邦生歴史小説集成第九巻・春の戴冠・Ⅲ』岩波書店, 1993年4月26日(平成5)【収録誌3】『春の戴冠』新潮社, 1996年2月29日(平成8)
205. 『<ユリアと魔法の都>自註』新刊展望【収録誌】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971～1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)

1月3日

206. 『森の中の思索から一かけがえのない生との出会いから一』読売新聞【収録誌1】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971～1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)【収録誌2】『地中海幻想の旅から』レダルス文庫, 1990年5月30日(平成2)

2月

207. 『荒涼の地の果て・宗谷岬』旅【収録誌1】『旅する心』〈新編人生の本③〉シリーズ, 文藝春秋, 1972年5月20日(昭和47)【収録誌2】『辻邦生作品全六巻6』河出書房新社, 1973年1月30日(昭和48)【収録誌3】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971～1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)【収録誌4】『詩への旅 詩からの旅』筑摩書房, 1974年12月17日(昭和49)【収録誌5】『日本随筆紀行 太古の原野に夢見てく1 北海道』作品社, 1986年6月10日(昭和61)【収録誌6】『北海道文学百景』〈北海道文学館設立20周年記念出版〉共同文化社, 1987年5月30日(昭和62)
208. 『小説による遍歴—歴史小説を書くまで—』中学教育【収録誌】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971～1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)

209. 『美へのまなざしから』インタヴュー, PIC

2月13日

210. 『私の取材ノート①やみくもに「信長」を』(改題「歴史のなかのロマネスク」) 読売新聞【収録誌1】『私の創作ノート』—「嵯峨野明月記ほか—歴史におりこむ現代の夢— 読売新聞社, 1973年6月15日(昭和48)【収録誌2】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971～1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)【収録誌3】『辻邦生歴史小説集成第十二巻・歴史小説論・歴史小説創作ノート』岩波書店, 1993年10月21日(平成5)

2月15日

211. 『私の取材ノート②耶蘇会士通信もとに』(改題「歴史のなかのロマネスク」) 読売新聞【収録誌1】

『私の創作ノート』—「嵯峨野明月記ほか—歴史におりこむ現代の夢—」読売新聞社, 1973年6月15日(昭和48)【収録誌2】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971~1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)【収録誌3】『辻邦生歴史小説集成第十二巻・歴史小説創作ノート』岩波書店, 1993年10月21日(平成5)

2月17日

212. 『私の取材ノート③詩情呼ぶ天草灘の青』(改題「歴史のなかのロマネスク」) 読売新聞【収録誌1】『私の創作ノート』—「嵯峨野明月記ほか—歴史におりこむ現代の夢—」読売新聞社, 1973年6月15日(昭和48)【収録誌2】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971~1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)【収録誌3】『辻邦生歴史小説集成第十二巻・歴史小説論・歴史小説創作ノート』岩波書店, 1993年10月21日(平成5)

2月19日

213. 『私の取材ノート④糸割賦の資料びたり』(改題「歴史のなかのロマネスク」) 読売新聞【収録誌1】『私の創作ノート』—「嵯峨野明月記ほか—歴史におりこむ現代の夢—」読売新聞社, 1973年6月15日(昭和48)【収録誌2】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971~1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)【収録誌3】『辻邦生歴史小説集成第十二巻・歴史小説創作ノート』岩波書店, 1993年10月21日(平成5)

2月20日

214. 『私の取材ノート⑤大日本資料に落胆』(改題「歴史のなかのロマネスク」) 読売新聞【収録誌1】『私の創作ノート』—「嵯峨野明月記ほか—歴史におりこむ現代の夢—」読売新聞社, 1973年6月15日(昭和48)【収録誌2】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971~1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)【収録誌3】『辻邦生歴史小説集成第十二巻・歴史小説論・歴史小説創作ノート』岩波書店, 1993年10月21日(平成5)

2月22日

215. 『私の取材ノート⑥光悦をめぐる人物設定』(改題「歴史のなかのロマネスク」) 読売新聞【収録誌1】『私の創作ノート』—「嵯峨野明月記ほか—歴史におりこむ現代の夢—」読売新聞社, 1973年6月15日(昭和48)【収録誌2】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971~1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)【収録誌3】『辻邦生歴史小説集成第十二巻・歴史小説論・歴史小説創作ノート』岩波書店, 1993年10月21日(平成5)

2月23日

216. 『私の取材ノート⑦宗達の絵にらむ日々』(改題「歴史のなかのロマネスク」) 読売新聞【収録誌1】『私の創作ノート』—「嵯峨野明月記ほか—歴史におりこむ現代の夢—」読売新聞社, 1973年6月15日(昭和48)【収録誌2】『私の創作ノート』〈よみうりの本〉VOL. 4 No.11, 読売新聞社, 1974年2月(昭和49)【収録誌3】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971~1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)【収録誌4】『辻邦生歴史小説集成第十二巻・歴史小説論・歴史小説創作ノート』岩波書店, 1993年10月21日(平成5)

2月24日

217. 『私の取材ノート⑧丹波の空, つきぬ情感』(改題「歴史のなかのロマネスク」) 読売新聞【収録誌1】『私の創作ノート』—「嵯峨野明月記ほか—歴史におりこむ現代の夢—」読売新聞社, 1973年6月15日(昭和48)【収録誌2】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971~1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)【収録誌3】『辻邦生歴史小説集成第十二巻・歴史小説論・歴史小説創作ノート』岩波書店, 1993年10月21日(平成5)

3月

218. 『歴史小説を書きはじめて頃』歴史と文学 創刊号【収録誌1】『北の森から』辻邦生第二エッセー

- 集1971～1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)【収録誌2】『辻邦生歴史小説集成第十二巻・歴史小説論・歴史小説創作ノート』岩波書店, 1993年10月21日(平成5)
219. 『歴史と文学』座談会(1971. 11. 21 京都で収録。会田雄次, 邦光史郎, 奈良本辰也, 原田伴彦)
歴史と文学 創刊号
3月3日
220. 『ポティチェルリの世界』サンケイ新聞 夕刊【収録誌1】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971～1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)【収録誌2】『橄欖の小枝』中央公論社, 1980年11月30日(昭和55)【収録誌3】『時の果実』朝日新聞社, 1984年6月25日(昭和59)
4月
221. 『舞台と映像と』(原題「舞台と映像」一ツ連のリア王とイギリスロイヤルシェークスピア公演を観る) 婦人之友【収録誌1】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971～1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)【収録誌2】『時の果実』朝日新聞社, 1984年6月25日(昭和59)
222. 『夢を支えるもの』風景【収録誌】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971～1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)
4月4日
223. 『我等のなかの湧いた河』エコノミスト(毎日新聞社, 柴田賢治郎による挿絵。→12月16日, 39回連載)
4月25日
75. 刊行: 『安土往還記』新潮文庫
5月
224. 『イメージの冒険』坂崎乙郎『イメージの変革』新潮社【収録誌】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)
225. 『真説 <ユリアと魔法の都>』文藝春秋
226. 『対談と博識と』司馬遼太郎・ドナルド・キーン『日本人と日本文化』中央公論社【収録誌】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)
6月
227. 『青春の輝きと幻』『PHP 青春の本』PHP 研究所【収録誌】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)
228. 『高輪界限から』歴史と文学 第二号
229. 『戸隠に惹かれた頃』(原題「戸隠の巫女」<川端康成読本> 新潮社【収録誌】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971～1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)
230. 『日本人の生と死』座談会, 歴史と文学 第二号
231. 『一夏の思い出から』『稲葉素之追悼』(私家版)【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社, 1991年5月20日(平成3)
6月30日
232. 『明智光秀』対談(桑田忠親) 角川書店編『日本史探訪第4集』【収録誌】『信長と秀吉をめぐる人々』角川文庫, 1983年10月10日(昭和58)
7月
233. 『音楽の季節によせて』推薦文, 『世界の名曲』中央公論社, 『ルネッサンス・バロックの音楽』筑摩書房【収録誌】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971～1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)
234. 『対談時評』対談(篠田一士) 文学界
7月1日

235. 『東と西と』(改題「人間性恢復へのささやかな試み」)朝日新聞「標的」【収録誌】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)
7月8日
236. 『個人と共同』(改題「人間性恢復へのささやかな試み」)朝日新聞「標的」【収録誌】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)
7月10日
237. 『風と光と影と』(原題「風と光と影と一ひとつのモネ論」)『世界の名画・6 <モネと印象派>』中央公論社【収録誌1】<カンヴァス 世界の名画・6>中央公論社, 1974年4月27日(昭和49)【収録誌2】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)【収録誌3】『橄欖の小枝』(再録『モネの見たものⅡ』)中央公論社, 1980年11月30日(昭和55)
7月15日
238. 『演劇と目録』(改題「人間性恢復へのささやかな試み」)朝日新聞「標的」【収録誌】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)
7月22日
239. 『進歩と退化』(改題「人間性恢復へのささやかな試み」)朝日新聞「標的」【収録誌】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)
7月29日
240. 『夏と想像力』(改題「人間性恢復へのささやかな試み」)朝日新聞「標的」【収録誌】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)
8月
241. 『語りもの文芸の息吹き』新潮【収録誌1】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971～1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)【収録誌2】『辻邦生歴史小説集成第十二巻・歴史小説論・歴史小説創作ノート』岩波書店, 1993年10月21日(平成5)
242. 『対談時評』対談(平岡篤頼)文学界
65. 刊行:『献身』限定版, 吾八プレス
65. 刊行:『献身』特製版, 吾八プレス
8月5日
243. 『海山と住居』(改題「人間性恢復へのささやかな試み」)朝日新聞「標的」【収録誌】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)
8月12日
244. 『地方と演劇』(改題「人間性恢復へのささやかな試み」)朝日新聞「標的」【収録誌】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)
8月13日
245. 『土地の霊』朝日新聞 俳壇【収録誌】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971～1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)
8月19日
246. 『戦後と人間』(改題「人間性恢復へのささやかな試み」)朝日新聞「標的」【収録誌】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)
8月26日
247. 『彫刻と方向喪失』(改題「人間性恢復へのささやかな試み」)朝日新聞「標的」【収録誌】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)
8月28日
248. 『ユリアヌスの廃墟から①心に残り続けた廃墟』週刊読書人【収録誌1】『霧の廃墟から』辻邦生

- 第三エッセー集1972～1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)【収録誌2】『辻邦生歴史小説集成第十二巻・歴史小説論・歴史小説創作ノート』岩波書店, 1993年10月21日(平成5)
- 8月30日
249. 刊行:『異邦にて』短篇小説集, 角川文庫
- 9月
250. 『想像力と記述』すばる【収録誌】『辻邦生作品全六巻6』河出書房新社, 1973年1月30日(昭和48)
251. 『長篇小説の主題と技法』対談(北杜夫) 海【収録誌1】『灰色の石に坐りて』中央公論社, 1974年7月10日(昭和49)【収録誌2】『灰色の石に坐りて』中公文庫, 1978年1月10日(昭和53)
252. 『トリスタンの後裔たち』(原題「エクセル名作館—ドルジェル伯の舞踏会」) エクセル 1972・秋号【収録誌】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971～1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)
253. 『武士道と日本人』座談会(1972.3.25京都で収録. 会田雄次, 尾崎秀樹, 邦光史郎, 陳瞬臣, 奈良本辰也, 原田伴彦) 歴史と文学 第三号
254. 『闇のなかの光の色—小田まゆみの世界—』芸術生活【収録誌】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)
- 9月1日
255. 『身の眺め』東京新聞 夕刊〈風信〉【収録誌】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971～1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)
- 9月2日
256. 『〈老い〉と人間』(改題「人間性恢復へのささやかな試み」) 朝日新聞「標的」【収録誌】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)
- 9月4日
257. 『ユリアヌスの廃墟から②時間の永遠の静けさ』週刊読書人【収録誌1】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)【収録誌2】『辻邦生歴史小説集成第十二巻・歴史小説論・歴史小説創作ノート』岩波書店, 1993年10月21日(平成5)
- 9月9日
258. 『登山と人間』(改題「人間性恢復へのささやかな試み」) 朝日新聞「標的」【収録誌】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)
- 9月11日
259. 『ユリアヌスの廃墟から③死・病氣・永遠』週刊読書人【収録誌1】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)【収録誌2】『辻邦生歴史小説集成第十二巻・歴史小説論・歴史小説創作ノート』岩波書店, 1993年10月21日(平成5)
- 9月16日
260. 『色彩と生活』(改題「人間性恢復へのささやかな試み」) 朝日新聞「標的」【収録誌】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)
- 9月18日
261. 『ユリアヌスの廃墟から④書くことに夢中になる』週刊読書人【収録誌1】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)【収録誌2】『辻邦生歴史小説集成第十二巻・歴史小説論・歴史小説創作ノート』岩波書店, 1993年10月21日(平成5)
- 9月21日
262. 『高瀬川』(原題「流域紀行—高瀬川」) 朝日新聞(十回連載)【収録誌1】『流域紀行』朝日新聞社, 1973年3月30日(昭和48)【収録誌2】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971～1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)【収録誌3】『高瀬川』限定版(68部) 鶴声居, 1975年8月(昭和50)【収録誌4】『流域紀行』朝日選書・69 朝日新聞社, 1976年8月20日(昭和51)

9月25日

263. 『ユリアヌスの廃墟から⑤作品に作用する偶然』週刊読書人【収録誌1】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)【収録誌2】『辻邦生歴史小説集成第十二巻・歴史小説論・歴史小説創作ノート』岩波書店, 1993年10月21日(平成5)

9月30日

264. 『旅行と移住』(改題「人間性回復へのささやかな試み」)朝日新聞「標的」【収録誌】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)

10月

265. 『歌のころを……』(原題「近似した情緒」)『日本の古典第11巻』月報, 河出書房新社【収録誌】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971～1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)

266. 『小説の過去と現在』座談(川村二郎, 黒井千次, 篠田一士)文芸

267. 『リルケとの邂逅』ユリイカ【収録誌1】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971～1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)【収録誌2】『時の果実』朝日新聞社, 1984年6月25日(昭和59)

10月2日

268. 『ユリアヌスの廃墟から⑥突然発見した一冊の本』週刊読書人【収録誌1】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)【収録誌2】『辻邦生歴史小説集成第十二巻・歴史小説論・歴史小説創作ノート』岩波書店, 1993年10月21日(平成5)

10月7日

269. 『言葉と音』(改題「人間性回復へのささやかな試み」)朝日新聞「標的」【収録誌】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)

10月9日

270. 『ユリアヌスの廃墟から⑦書くことが苦痛な経験』週刊読書人【収録誌1】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)【収録誌2】『辻邦生歴史小説集成第十二巻・歴史小説論・歴史小説創作ノート』岩波書店, 1993年10月21日(平成5)

10月14日

271. 『漢字と教育』(改題「人間性回復へのささやかな試み」)朝日新聞「標的」【収録誌】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)

10月16日

272. 『ユリアヌスの廃墟から⑧材料の蒐集に着手』週刊読書人【収録誌1】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)【収録誌2】『辻邦生歴史小説集成第十二巻・歴史小説論・歴史小説創作ノート』岩波書店, 1993年10月21日(平成5)

10月23日

273. 『ユリアヌスの廃墟から⑨ユリアヌスの世界に精通』週刊読書人【収録誌1】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)【収録誌2】『辻邦生歴史小説集成第十二巻・歴史小説論・歴史小説創作ノート』岩波書店, 1993年10月21日(平成5)

10月30日

107. 刊行:『背教者ユリアヌス』中央公論社

274. 『式子内親王集・建礼門院右京大夫集』(現代語訳)『カラー版 日本の古典第11巻』河出書房新社

275. 『角倉了以』対談(原田伴彦, 1972.1.5のNHKの放送か)角川書店編『日本史探訪』第6集

276. 『創作ノート<夏の砦>』解題・異稿『辻邦生作品全六巻2』河出書房新社【収録誌】『夏の砦』文春文庫, 1996年11月10日(平成8)

277. 刊行:『辻邦生作品全六巻2』作品集, 河出書房新社

278. 『<夏の砦>まで』対談(埴谷雄高)『辻邦生作品全六巻2』付録 月報I, 河出書房新社

279. 『花は散りて』(「式子内親王集」まえがき)『日本の古典第11巻』河出書房新社【収録誌】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971～1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)
280. 『落日の中の女』(「建礼門院右京大夫集」まえがき)『カラー版 日本の古典第11巻』河出書房新社【収録誌】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971～1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)
- 11月
281. 『冷たい花びらの渦のなかで』(原題「円地源氏を読む」)波【収録誌】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971～1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)
282. 『福永武彦一意識と方法』国文学解釈と教材の研究【収録誌1】『福永武彦・小島信夫集』〈現代日本文学全集・補巻37〉筑摩書房, 1973年4月1日(昭和48)【収録誌2】『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971～1972, 新潮社, 1974年2月10日(昭和49)
- 11月4日
283. 『多様と画一』(改題「人間性回復へのささやかな試み」)朝日新聞「標的」【収録誌】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)
- 11月11日
284. 『時間と生活』(改題「人間性回復へのささやかな試み」)朝日新聞「標的」【収録誌】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)
- 11月17日
285. 『岬にて』ラジオドラマ, NHK・FM 芸術劇場【収録誌1】『辻邦生全短篇』中央公論社, 1978年10月5日(昭和53)【収録誌2】『辻邦生全短篇2』中公文庫, 1986年6月10日(昭和61)
- 11月18日
286. 『言葉とあいまい』(改題「人間性回復へのささやかな試み」)朝日新聞「標的」【収録誌】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)
- 11月20日
287. 『ユリアヌスの廃墟から⑩予想された二つの困難』週刊読書人【収録誌1】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)【収録誌2】『辻邦生歴史小説集成第十二巻・歴史小説論・歴史小説創作ノート』岩波書店, 1993年10月21日(平成5)
- 11月25日
288. 『事実を見る目』(改題「人間性回復へのささやかな試み」)朝日新聞「標的」【収録誌】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)
- 11月27日
289. 『ユリアヌスの廃墟から⑪悲痛な宿命の気分』週刊読書人【収録誌1】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)【収録誌2】『辻邦生歴史小説集成第十二巻・歴史小説論・歴史小説創作ノート』岩波書店, 1993年10月21日(平成5)
- 11月30日
290. 『初期作品のころ』対談(栗津則雄)『辻邦生作品全六巻1』月報Ⅱ 河出書房新社
291. 『創作ノート〈ある晩年〉について』解題, 『辻邦生作品全六巻1』河出書房新社
292. 『創作ノート〈異国から〉について』解題, 『辻邦生作品全六巻1』河出書房新社
293. 『創作ノート〈回廊にて〉について』解題, 『辻邦生作品全六巻1』河出書房新社
294. 『創作ノート〈蛙〉について』解題, 『辻邦生作品全六巻1』河出書房新社
295. 『創作ノート〈影〉について』解題, 『辻邦生作品全六巻1』河出書房新社
296. 『創作ノート〈城〉について』解題, 『辻邦生作品全六巻1』河出書房新社
297. 『創作ノート〈旅の終り〉について』解題, 『辻邦生作品全六巻1』河出書房新社
298. 『創作ノート〈遠い園生〉について』解題, 『辻邦生作品全六巻1』河出書房新社

299. 刊行：『辻邦生作品全六巻1』作品集，河出書房新社
300. 『琳派の美』（原題「飲みつくせぬ豊饒な精神」）藝術新潮【収録誌1】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973，新潮社，1976年10月20日（昭和51）【収録誌2】『橄欖の小枝』中央公論社，1980年11月30日（昭和55）【収録誌3】辻邦生編『絵画』〈古美術読本5〉井上靖監修，淡文社，1987年5月28日（昭和62）
- 12月1日
301. 『作品の方法と意義』（原題「辻邦生の作品世界」）対談（清水徹）新刊ニュース No.255 No.256【収録誌1】『灰色の石に坐りて』中央公論社，1974年7月10日（昭和49）【収録誌2】『灰色の石に坐りて』1978年1月10日（昭和53）
- 12月2日
302. 『老人とテレビ』（改題「人間性回復へのささやかな試み」）朝日新聞「標的」【収録誌】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973，新潮社，1976年10月20日（昭和51）
- 12月4日
303. 『ユリアヌスの廃墟から②一回分を書きあげる』週刊読書人【収録誌1】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973，新潮社，1976年10月20日（昭和51）【収録誌2】『辻邦生歴史小説集成第十二巻・歴史小説論・歴史小説創作ノート』岩波書店，1993年10月21日（平成5）
- 12月9日
304. 『文学と共通語』（改題「人間性回復へのささやかな試み」）朝日新聞「標的」【収録誌】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973，新潮社，1976年10月20日（昭和51）
- 12月10日
187. 刊行：『神様の四人の娘』（限定版），湯川書房
- 12月11日
305. 『ユリアヌスの廃墟から③遺跡を巡歴する旅』週刊読書人【収録誌1】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973，新潮社，1976年10月20日（昭和51）【収録誌2】『辻邦生歴史小説集成第十二巻・歴史小説論・歴史小説創作ノート』岩波書店，1993年10月21日（平成5）
- 12月16日
306. 『名前と実体』（改題「人間性回復へのささやかな試み」）朝日新聞「標的」【収録誌】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973，新潮社，1976年10月20日（昭和51）
- 12月18日
307. 『ユリアヌスの廃墟から④友情の不可思議さ』週刊読書人【収録誌1】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973，新潮社，1976年10月20日（昭和51）【収録誌2】『辻邦生歴史小説集成第十二巻・歴史小説論・歴史小説創作ノート』岩波書店，1993年10月21日（平成5）
- 12月20日
308. 『創作ノート〈ある告別〉について』河出書房新社
309. 『創作ノート〈空の王座〉について』河出書房新社
310. 『創作ノート〈北の岬〉について』河出書房新社
311. 『創作ノート〈献身〉について』河出書房新社
312. 『創作ノート〈洪水の終り〉について』河出書房新社
313. 『創作ノート〈叢林の果て〉について』河出書房新社
314. 『創作ノート〈風塵〉について』河出書房新社
315. 『創作ノート〈見知らぬ町にて〉について』河出書房新社
316. 『創作ノート〈夜〉について』河出書房新社
317. 刊行：『辻邦生作品全六巻3』作品集，河出書房新社

318. 『「文藝」の会のごろ』対談（真継伸彦）『辻邦生作品全六巻3』月報Ⅲ，河出書房新社
12月23日
319. 『イワンと北爆』（改題「人間性回復へのささやかな試み」）朝日新聞「標的」【収録誌】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973，新潮社，1976年10月20日（昭和51）
1973年1月（昭和48）
320. 『世界文学のたのしみ』推薦文，『グリーン版世界文学全集』河出書房新社【収録誌】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973，新潮社，1976年10月20日（昭和51）
321. 『立体と平面と』室内【収録誌】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973，新潮社，1976年10月20日（昭和51）
1月1日
322. 『ユリアヌスの廃墟から⑤ノサックに強く共感』週刊読書人【収録誌1】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973，新潮社，1976年10月20日（昭和51）【収録誌2】『辻邦生歴史小説集成第十二巻・歴史小説論・歴史小説創作ノート』岩波書店，1993年10月21日（平成5）
1月4日
323. 『「形」に耳をすます時』毎日新聞 夕刊【収録誌1】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973，新潮社，1976年10月20日（昭和51）【収録誌2】『時の果実』朝日新聞社，1984年6月25日（昭和59）
324. 『近い旅 遠い旅』朝日新聞 夕刊【収録誌1】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973，新潮社，1976年10月20日（昭和51）【収録誌2】『地中海幻想の旅から』レグルス文庫，1990年5月30日（平成2）
1月15日
325. 『ユリアヌスの廃墟から⑥人間精神のドラマを描く』週刊読書人【収録誌1】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973，新潮社，1976年10月20日（昭和51）【収録誌2】『辻邦生歴史小説集成第十二巻・歴史小説論・歴史小説創作ノート』岩波書店，1993年10月21日（平成5）
1月22日
326. 『ユリアヌスの廃墟から⑦個々の部分を十全に』週刊読書人【収録誌1】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973，新潮社，1976年10月20日（昭和51）【収録誌2】『辻邦生歴史小説集成第十二巻・歴史小説論・歴史小説創作ノート』岩波書店，1993年10月21日（平成5）
1月29日
327. 『ユリアヌスの廃墟から⑧皇帝の死を作品の中心に』週刊読書人【収録誌1】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973，新潮社，1976年10月20日（昭和51）【収録誌2】『辻邦生歴史小説集成第十二巻・歴史小説論・歴史小説創作ノート』岩波書店，1993年10月21日（平成5）
1月30日
328. 『異国の街で』対談（開高健）『辻邦生作品全六巻6』月報Ⅳ，河出書房新社【収録誌】『午後の楽しみ』開高健対談集，文藝春秋，1974年7月1日（昭和49）
329. 刊行：『辻邦生作品全六巻6』作品集，河出書房新社
330. 『パリ日記』日記『辻邦生作品全六巻6』河出書房新社【収録誌】『パリの手記Ⅰ 海そして変容』河出書房新社，1973年7月15日（昭和48）
2月
331. 『フィレンツェ散策』（原題「思索の旅」）朝日ジャーナル 第729号【収録誌1】『詩への旅 詩からの旅』筑摩書房，1974年12月17日（昭和49）【収録誌2】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973，新潮社，1976年10月20日（昭和51）【収録誌3】『時の果実』朝日新聞社，1984年6月25日（昭和59）【収録誌4】『地中海幻想の旅から』レグルス文庫，1990年5月30日（平成2）

332. 『歴史と現代文学』対談(遠藤周作) 文学界【収録誌1】『灰色の石に坐りて』中央公論社, 1974年7月10日(昭和49)【収録誌2】『灰色の石に坐りて』中公文庫, 1978年1月10日(昭和53)【収録誌3】『たかが信長されど信長』〈作家はなぜ歴史小説を書こうとするのか—書く側の論理〉文藝春秋, 1992年6月10日(平成4)
- 2月5日
333. 『ユリアヌスの廃墟から⑨全体を規定する小部分』週刊読書人【収録誌1】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972~1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)【収録誌2】『辻邦生歴史小説集成第十二巻・歴史小説論・歴史小説創作ノート』岩波書店, 1993年10月21日(平成5)
- 2月12日
334. 『ユリアヌスの廃墟から⑩多くの内実もつ一行』週刊読書人【収録誌1】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972~1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)【収録誌2】『辻邦生歴史小説集成第十二巻・歴史小説論・歴史小説創作ノート』岩波書店, 1993年10月21日(平成5)
- 2月19日
335. 『ユリアヌスの廃墟から⑪視点確保に役立った地図』週刊読書人【収録誌1】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972~1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)【収録誌2】『辻邦生歴史小説集成第十二巻・歴史小説論・歴史小説創作ノート』岩波書店, 1993年10月21日(平成5)
- 2月26日
336. 『ユリアヌスの廃墟から⑫全体と部分の問題』週刊読書人【収録誌1】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972~1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)【収録誌2】『辻邦生歴史小説集成第十二巻・歴史小説論・歴史小説創作ノート』岩波書店, 1993年10月21日(平成5)
- 2月27日
337. 『創作ノート〈安土往還記〉について』解題, 『辻邦生作品全六巻4』河出書房新社
338. 『創作ノート〈天草の雅歌〉について』解題, 『辻邦生作品全六巻4』河出書房新社
339. 刊行: 『辻邦生作品全六巻4』作品集, 河出書房新社
340. 『文学・社会・音楽』対談(饗庭孝男) 『辻邦生作品全六巻4』月報V, 河出書房新社
- 3月
341. 『アールスガルドまで』図書【収録誌1】『詩への旅 詩からの旅』筑摩書房, 1974年12月17日(昭和49)【収録誌2】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972~1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)【収録誌3】『紀行全集 世界体験・5』中央公論社, 1978年11月24日(昭和53)【収録誌4】辻邦生編『地図を夢見る』〈楽しみと冒険〉シリーズ1, 新潮社, 1979年11月20日(昭和54)【収録誌5】『時の果実』朝日新聞社, 1984年6月25日(昭和59)
342. 『数学への憧れ』数学セミナー【収録誌】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972~1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)
343. 『みやこそこの歴史と風土』座談(池田弥三郎, 奈良本辰也, 宮本又次) 歴史と文学 第五号
344. 『モリエールの笑い』推薦文, 『モリエール全集』中央公論社【収録誌】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972~1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)
- 3月5日
345. 『ユリアヌスの廃墟から⑬予定より長くなる傾向』週刊読書人【収録誌1】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972~1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)【収録誌2】『辻邦生歴史小説集成第十二巻・歴史小説論・歴史小説創作ノート』岩波書店, 1993年10月21日(平成5)
- 3月12日
346. 『ユリアヌスの廃墟から⑭「激動」と古代末期の照応』週刊読書人【収録誌1】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972~1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)【収録誌2】『辻邦生歴史小説

集成第十二巻・歴史小説論・歴史小説創作ノート』岩波書店，1993年10月21日（平成5）

3月19日

347. 『ユリアヌスの廃墟から②ユリアヌスの刊行』週刊読書人【収録誌1】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973，新潮社，1976年10月20日（昭和51）【収録誌2】『辻邦生歴史小説集成第十二巻・歴史小説論・歴史小説創作ノート』岩波書店，1993年10月21日（平成5）

3月20日

348. 『説話と物語性—私の民話論』『民衆の英雄』〈日本の民話・4〉シリーズ，角川書店【収録誌1】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973，新潮社，1976年10月20日（昭和51）【収録誌2】『民衆の英雄』〈日本の民衆・4〉シリーズ，角川文庫，1981年4月10日（昭和56）

3月30日

349. 『アッシリアの眼』（原題「超自然の畏怖と戦い」）日本経済新聞【収録誌1】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973，新潮社，1976年10月20日（昭和51）【収録誌2】『地中海幻想の旅から』レグルス文庫，1990年5月30日（平成2）
350. 『創作ノート〈円形劇場から〉について』解題，『辻邦生作品全六巻5』河出書房新社
351. 『創作ノート〈嵯峨野明月記〉について』解題，『辻邦生作品全六巻5』河出書房新社
352. 『創作ノート〈サラマンカの手帖から〉について』解題，『辻邦生作品全六巻5』河出書房新社
353. 『創作ノート〈橋〉について』解題，『辻邦生作品全六巻5』河出書房新社
354. 『創作ノート〈ランデルスにて〉について』解題，『辻邦生作品全六巻5』河出書房新社
355. 刊行：『辻邦生作品全六巻5』作品集，河出書房新社
356. 『日本の古典』対談（竹西寛子）『辻邦生作品全六巻5』月報Ⅵ，河出書房新社

4月

357. 『本質を凝視する眼』推薦文，『壇谷雄高評論選集』講談社【収録誌】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973，新潮社，1976年10月20日（昭和51）
358. 『目撃者と不在者—精神の共和国は可能か—』対談（武田泰淳）文藝展望 創刊号【収録誌】『精神の共和国は可能か』武田泰淳対談集，筑摩書房，1973年12月10日（昭和48）
359. 『私の大学時代』これくしょん 51・52合併号【収録誌】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973，新潮社，1976年10月20日（昭和51）

4月19日

85. 刊行：『ある告別』（限定版）吾八ぶれす

4月23日

360. 『甘美なるもの10選—①アテネ女神像』（改題「私の古典美術館」）日本経済新聞【収録誌1】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973，新潮社，1976年10月20日（昭和51）【収録誌2】『橄欖の小枝』中央公論社，1980年11月30日（昭和55）【収録誌3】『地中海幻想の旅から』レグルス文庫，1990年5月30日（平成2）

4月24日

361. 『甘美なるもの10選—②パルテノン神殿のフリーズ』（改題「私の古典美術館」）日本経済新聞【収録誌1】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973，新潮社，1976年10月20日（昭和51）【収録誌2】『橄欖の小枝』中央公論社，1980年11月30日（昭和55）【収録誌3】『地中海幻想の旅から』レグルス文庫，1990年5月30日（平成2）

4月25日

362. 『甘美なるもの10選—③ミロのビーナス』（改題「私の古典美術館」）日本経済新聞【収録誌1】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973，新潮社，1976年10月20日（昭和51）【収録誌2】『橄欖の小枝』中央公論社，1980年11月30日（昭和55）【収録誌3】『地中海幻想の旅から』レグルス文庫，

1990年5月30日(平成2)

4月26日

363. 『甘美なるもの10選—④ヘゲソの墓碑』(改題「私の古典美術館」) 日本経済新聞【収録誌1】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972~1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)【収録誌2】『橄欖の小枝』中央公論社, 1980年11月30日(昭和55)【収録誌3】『地中海幻想の旅から』レグルス文庫, 1990年5月30日(平成2)

4月28日

364. 『甘美なるもの10選—⑤レスポスの女たち』(改題「私の古典美術館」) 日本経済新聞【収録誌1】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972~1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)【収録誌2】『橄欖の小枝』中央公論社, 1980年11月30日(昭和55)【収録誌3】『地中海幻想の旅から』レグルス文庫, 1990年5月30日(平成2)

4月30日

365. 『甘美なるもの10選—⑥サンダルをぬぐ勝利の女神』(改題「私の古典美術館」) 日本経済新聞【収録誌1】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972~1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)【収録誌2】『橄欖の小枝』中央公論社, 1980年11月30日(昭和55)【収録誌3】『地中海幻想の旅から』レグルス文庫, 1990年5月30日(平成2)

5月

366. 『新作家・私の姿勢』アンケート, 国文学 解釈と鑑賞

367. 『東国の歌』(原題「東国・名もなき人々の情熱」「万葉東歌の旅」) 文芸春秋 臨時増刊〈万葉の旅〉【収録誌1】『詩への旅 詩からの旅』筑摩書房, 1974年12月17日(昭和49)【収録誌2】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972~1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)【収録誌3】『市川の文学』市川市教育委員会, 1982年3月31日(昭和57)【収録誌4】中西進編『日本の名随筆 63 万葉(三)』作品社, 1988年1月25日(昭和63)

368. 『汝が永遠の岸辺—想像的空間について的小論—』ユリイカ 臨時増刊【収録誌】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972~1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)

369. 『バルザックの幻想力』(原題「バルザックの幻視力」) 推薦文, 『バルザック全集』東京創元社【収録誌】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972~1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)

370. 『ロシアの旅から』『ブーシキン全集第5巻』月報, 河出書房【収録誌1】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972~1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)【収録誌2】『時の果実』朝日新聞社, 1984年6月25日(昭和59)【収録誌3】『地中海幻想の旅から』レグルス文庫, 1990年5月30日(平成2)

5月1日

371. 『甘美なるもの10選—⑦デルポイのアテナ神殿トロース』(改題「私の古典美術館」) 日本経済新聞【収録誌1】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972~1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)【収録誌2】『橄欖の小枝』中央公論社, 1980年11月30日(昭和55)【収録誌3】『地中海幻想の旅から』レグルス文庫, 1990年5月30日(平成2)

5月2日

372. 『甘美なるもの10選—⑧シナゴーグ像頭部』(改題「私の古典美術館」) 日本経済新聞【収録誌1】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972~1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)【収録誌2】『橄欖の小枝』中央公論社, 1980年11月30日(昭和55)【収録誌3】『地中海幻想の旅から』レグルス文庫, 1990年5月30日(平成2)

5月3日

373. 『甘美なるもの10選—⑨ラッパを吹く第一の天使』(改題「私の古典美術館」) 日本経済新聞【収録誌1】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972~1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)【収録誌2】『橄欖の小枝』中央公論社, 1980年11月30日(昭和55)【収録誌3】『地中海幻想の旅から』レグルス文庫, 1990年5月30日(平成2)

- 誌2】『橄欖の小枝』中央公論社，1980年11月30日(昭和55)【収録誌3】『地中海幻想の旅から』レグルス文庫，1990年5月30日(平成2)
- 5月5日
374. 『甘美なるもの10選—⑩ポッティチェルリの春』(改題「私の古典美術館」)日本経済新聞【収録誌1】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973，新潮社，1976年10月20日(昭和51)【収録誌2】『橄欖の小枝』中央公論社，1980年11月30日(昭和55)【収録誌3】『地中海幻想の旅から』レグルス文庫，1990年5月30日(平成2)
- 5月25日
27. 刊行：『回廊にて』新潮文庫
- 6月
375. 『異国人の見たミヤコの春 南蛮美術—西欧との華麗なる出会い』(『安土往還記』抄録)小原流插花【収録誌】『安土往還記』筑摩書房，1968年8月20日(昭和43)
376. 『作者固有の文体』選評，文学界 第36回文学界新人賞選評
377. 『詩的創造について』『テンペスト』公演パンフレット，劇団「雲」【収録誌1】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973，新潮社，1976年10月20日(昭和51)【収録誌2】『時の果実』朝日新聞社，1984年6月25日(昭和59)
- 7月
378. 『書物のすがた』『岩崎貴重本叢』日本古典文学会推薦文【収録誌】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973，新潮社，1976年10月20日(昭和51)
- 7月15日
379. 刊行：『パリの手記Ⅰ 海そして変容』日記，河出書房新社【収録誌1】『パリの手記』河出書房新社，1975年5月20日(昭和50)【収録誌2】『紀行全集世界体験 第6巻フランス』「パリの手記」抄録，河出書房新社，1978年2月24日(昭和53)【収録誌3】『パリの手記Ⅰ 海そして変容』河出文庫，1984年6月4日(昭和59)【収録誌4】日本ペンクラブ編 山口文憲選『香港読本』(1957. 9. 12の日記を所収)福武文庫，1989年1月19日(平成1)【収録誌5】小川国夫編『日本の名随筆 79 港』(「神戸港」が再録)作品社，1989年5月25日(平成1)【収録誌6】『昭和二万日の全記録 第11巻 昭和31～34年 技術革新の展開』(1975年9月5日の日記が抄録されている)講談社，1990年3月24日(平成2)
380. 『<パリの手記> について』『パリの手記Ⅰ 海そして変容』河出書房新社
- 8月
381. 『遠い夏の日々』岩波文庫推薦文【収録誌】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973，新潮社，1976年10月20日(昭和51)
- 8月20日
382. 『われらがフランス体験』対談(平岡篤頼)平岡篤頼著『パリふたたび』小沢書店
- 9月
383. 『詩的体験の切実さ』(原題「切実な詩的体験による対象の把握—丸谷才一『後鳥羽院』)文芸【収録誌】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973，新潮社，1976年10月20日(昭和51)
384. 『日本人と旅』座談会(尾崎秀樹，邦光史郎，陳瞬臣)歴史と文学
385. 『福永武彦の世界』推薦文，新潮社『福永武彦全小説』内容見本【収録誌】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972～1973，新潮社，1976年10月20日(昭和51)
- 9月10日
386. 『モンマルトル日記・上』1968—1969，日記，すばる 第13号【収録誌1】『モンマルトル日記』集英社，1974年5月20日(昭和49)【収録誌2】『筑摩現代文学体系・87 北杜夫・辻邦生集』筑摩書房，1976年3月15日(昭和51)【収録誌3】『モンマルトル日記』集英社文庫，1979年4月25日(昭和54)

- 【収録誌4】『辻邦生歴史小説集成第十二巻・歴史小説論・歴史小説創作ノート』岩波書店, 1993年10月21日(平成5)【収録誌5】「鳩よ!」(「1969年元旦」で一部収録) 1989年1月(昭和64)【収録誌6】『昭和二万日の全記録 第14巻 昭和43年~46年揺れる昭和元録』(1968年12月19日の日記の抄録) 講談社, 1990年7月24日(平成2)
- 9月15日
387. 『『全性格の描写』への道』(原題「〈文学論〉とく坊っちゃん」の間)『夏目漱石全集』第1巻, 角川書店【収録誌】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972~1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51) 10月
388. 『詩への旅 詩からの旅—西欧の夏の旅から—』日記, 文芸展望 第3号【収録誌1】『詩への旅 詩からの旅』筑摩書房, 1974年12月17日(昭和49)【収録誌2】『紀行全集 世界体験7巻 南欧』「中部イタリヤの旅」所収, 河出書房新社, 1978年4月24日(昭和53)【収録誌3】『紀行全集 世界体験5巻 イギリス・ドイツ』「アールスガルドまで」所収, 河出書房新社, 1978年11月24日(昭和53年) 10月30日
389. 刊行:『パリの手記Ⅱ 城そして象徴』日記, 河出書房新社【収録誌1】『パリの手記』河出書房新社, 1975年5月20日(昭和50)【収録誌2】『パリの手記Ⅱ 城そして象徴』河出文庫, 1984年8月4日(昭和59) 10月31日
390. 『書く側から見た読書論—言葉の世界の重さ—』読売新聞【収録誌】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972~1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51) 11月12日
391. 『ルネサンス賛 肖像画の魅惑』毎日新聞 夕刊〈ベネチア派名作展から④〉【収録誌】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972~1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51) 12月
392. 『辞書をひく喜び』『国語中辞典』角川書店, 推薦文【収録誌】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972~1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)
393. 『シャガールのなかの「聖書」の風景』藝芸新潮【収録誌】『橄欖の小枝』中央公論社, 1980年11月30日(昭和55)
394. 『文体意識と将来性』文學界 第37回文学界新人賞選評
395. 『魔法の小屋のために』波【収録誌1】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972~1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)【収録誌2】『時の果实』朝日新聞社, 1984年6月25日(昭和59)
396. 『明晰さを支えるもの』『志賀直哉全集第11巻』月報, 岩波書店【収録誌】『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972~1973, 新潮社, 1976年10月20日(昭和51)
397. 『モンマルトル日記・下』日記, すばる 第14号【収録誌1】『モンマルトル日記』集英社, 1974年5月20日(昭和49)【収録誌2】『筑摩現代文学体系・87 北杜夫・辻邦生集』筑摩書房, 1976年3月15日(昭和51)【収録誌3】『モンマルトル日記』集英社文庫, 1979年4月25日(昭和54)【収録誌4】『辻邦生歴史小説集成第十二巻・歴史小説論・歴史小説創作ノート』岩波書店, 1993年10月21日(平成5)
398. 『わが文学の軌跡』対談(丸谷才一) 海【収録誌1】『灰色の石に坐りて』中央公論社, 1974年7月10日(昭和49)【収録誌2】『灰色の石に坐りて』中公文庫, 1978年1月10日(昭和53) 12月20日
399. 刊行:『パリの手記Ⅲ 街そして形象』日記, 河出書房新社【収録誌1】『パリの手記』河出書房新社, 1975年5月20日(昭和50)【収録誌2】『パリの手記Ⅲ 街そして形象』河出文庫, 1984年9月4日(昭和59)
400. 刊行:『祝典喜劇 ポセイドン仮面祭』新潮社, 書き下ろし戯曲 (1996. 9. 30 受理) 以下次号